

CADWe'll 土木 9

改善項目一覧



株式会社 ダイテック

DAITEC

<http://www.daitec.jp/>

平成 28 年 11 月吉日

ごあいさつ

拝啓 時下益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。

このたびは弊社 CADWe'll 土木 9 をご導入いただき、心よりお礼申し上げます。

本製品は日頃よりお寄せいただいておりますお客様の声にお応えするべく、機能アップ、機能改善などを組み込んだ製品としてリリースいたしました。新たに加わった機能をお使いいただく場合はもとより、従来からご提供している機能のみをお使いになる場合におきましても、旧バージョンよりも効率的で安心して本製品をご利用いただけるものと確信しております。

本冊子では、前バージョン CADWe'll 土木 2013 からの機能改善に関して説明しております。すでに CADWe'll 土木シリーズをお使いのお客様におかれましては、どのような機能が追加されたのか、何が変更になったのかを素早くご理解いただける内容となっております。また、製品のポテンシャルを最大限引き出し、お客様の業務効率化に役に立てていただくために、本冊子を是非ご一読いただくことを全ての利用者様にお奨めします。

今後ともお客様のご期待に添えるソフトウェア開発に全社一丸となって努めて参る所存でございますので、弊社 CADWe'll シリーズを末永くご愛顧を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

敬具

CONTENTS

1. DWG/DXF 入出力について	1
2. DWG/DXF 入出力時の基準原点について	2
3. DWG/DXF の基準原点マーク出力について	2
4. DWG/DXF 図面変換テーブルのレイヤ項目について	3
5. 単色指定シートの DWG 出力について	3
6. DWG 読みみのペイント図形の表示順について	3
7. png 入出力について	4
8. SXF 図面 (*.sfz、*.p2z) の入出力について	4
9. PDF 出力について	5
10. PDF の外部リンクについて	6
11. シート属性取得について	7
12. シートパターンについて	7
13. シートおよびシート分類の UI について	7
14. シートの弱表示について	11
15. シートパターンの編集について	12
16. シート/レイアウト複写時の基準について	12
17. 非表示シート分類のレイアウト側での表示について	13
18. シート移動複写の属性取得について	13
19. カレントシート削除時のカレント設定について	13
20. レイヤ状態設定のツリー表示について	14
21. レイヤー一覧について	14
22. レイヤ選択の属性取得について	14
23. 外部リンク先の検索順序について	15
24. 外部リンクのリンク領域編集について	16
25. 外部リンク先のレイヤ属性の反映について	17
26. 外部リンク参照領域の一斉拡張について	17
27. 多角形ビューポートについて	17
28. レイアウト指定の図面登録について	18
29. ハイパーリンクの相対パス指定について	19
30. 印刷用色幅指定の改善について	20
31. 印刷ダイアログでの印刷用色幅指定について	20
32. 連続レイアウト印刷について	21
33. 印刷について	21
34. 印刷時の文字飾り背景について	22
35. OLE の印刷について	22
36. シートパターン印刷について	22
37. 通り芯符号の印刷について	23
38. 特定の条件を指定した選択について	23

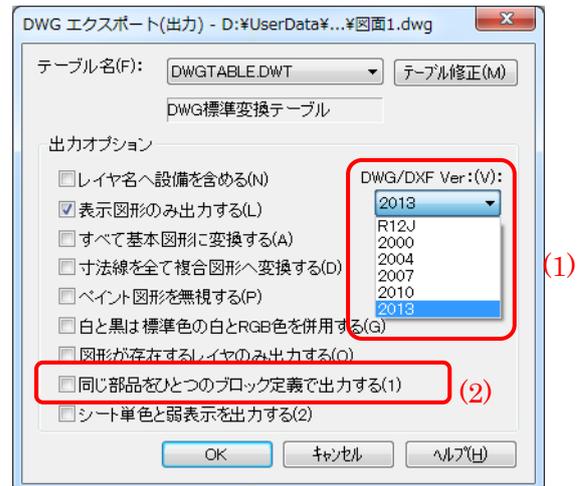
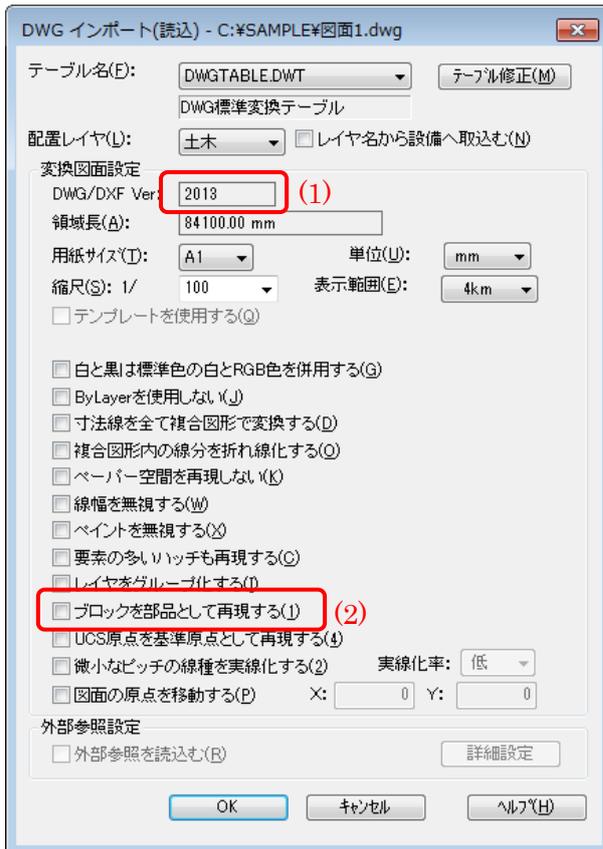
39. 集合化できないときの選択解除について.....	24
40. 図形情報について	24
41. 図形情報からのコマンド起動について	24
42. 文字記入時の図面内文字挿入について	24
43. 連続文字について	25
44. 文字関数について	25
45. 文字関数ツールのコマンドライン実行について.....	26
46. 文字合体について	26
47. 寸法線の作図方向について.....	26
48. 寸法線の寸法値 90° 回転について	27
49. 模様ありペイントの単色指定表示について	27
50. 虫眼鏡ウィンドウの強化.....	27
51. 基準原点表示について	28
52. コメント履歴について	28
53. 補助図形の補助色表示について	29
54. パンニングの改善について	29
55. 最新のファイルの表示数について	30
56. 微小なピッチの線種について.....	30
57. ファイルを開くおよび保存ダイアログについて.....	31
58. 時間課金版の情報表示について	31
59. 送信について.....	32
60. 図形数について	33
61. 通り芯の文字方向について	33
62. オンライン保存について.....	34
63. マルチディスプレイにおける文字編集ダイアログ等の表示位置について.....	34
64. 雲形図形の作図について.....	34
65. ツールバーの固定について	35
66. 引出線の文字基準指定について	35
67. 製図基準について	36

CADWe'll 土木 9 改善項目一覧

CADWe'll 土木 2013 から、以下の 67 項目の改善を行いました。

1. DWG/DXF 入出力について

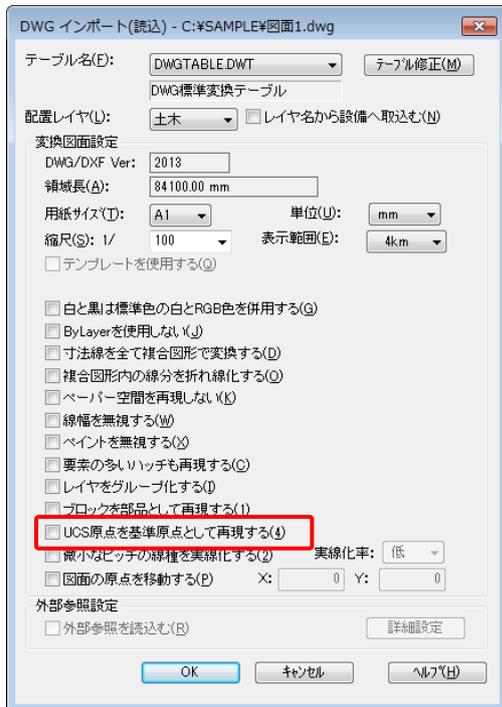
- (1) 2013 形式の入出力に対応しました。
- (2) 同じ部品をひとつのブロック定義として出力できるようにしました。また、ブロックを部品として読込むことができるようにしました。



2. DWG/DXF 入出力時の基準原点について

- (1) DWG/DXF インポート時^[#1]に、UCS 原点を基準原点として取り込むことができるようにしました。また、エクスポート時に、基準原点を UCS 原点として出力します。

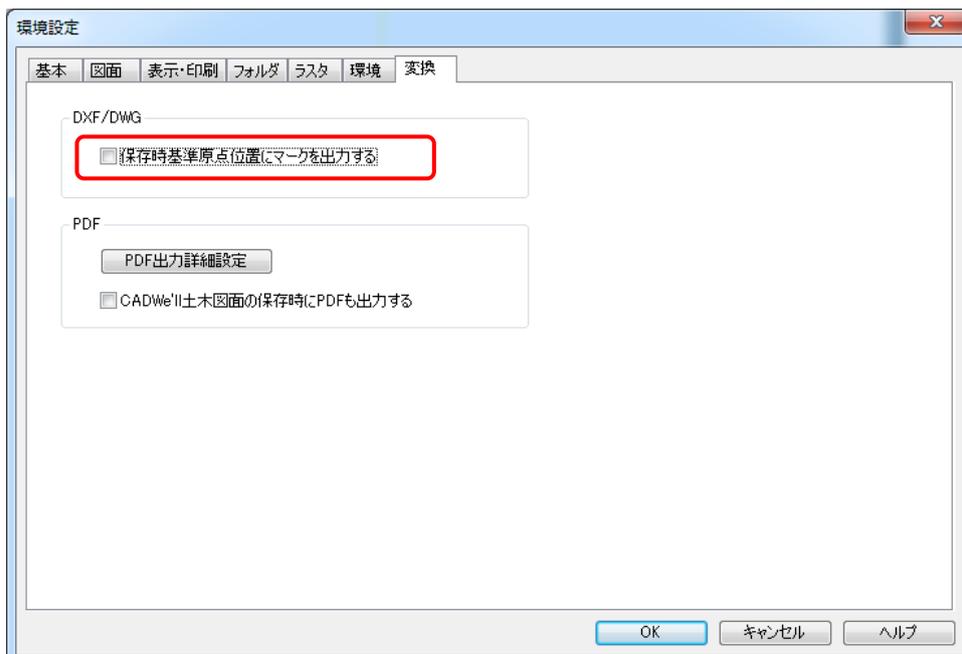
[#1]メニューバー[ファイル]-[開く]のDWG/DXF 読み込みの【DWG/DXF インポート (読み込み)】ダイアログ



3. DWG/DXF の基準原点マーク出力について

- (1) DWG/DXF 出力時に、基準原点位置および絶対原点位置のマーク（十字線）を出力できるようにしました。出力の有無は環境設定^[#1]で設定します。

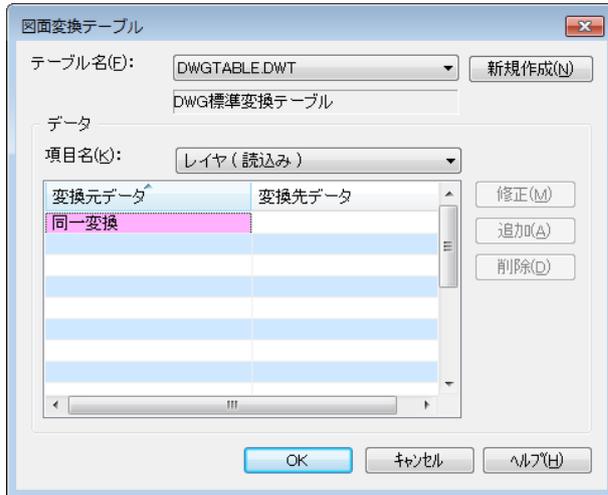
[#1]メニューバー[設定]-[環境設定]の【環境設定】ダイアログ-[変換]タブ



4. DWG/DXF 図面変換テーブルのレイヤ項目について

- (1) DWG/DXF のインポート時に適用される図面変換テーブル#1に“レイヤ(読み込み)”の項目を追加しました。変換元/先データを設定することで、インポート時に、任意のレイヤ名称に変更することができます。

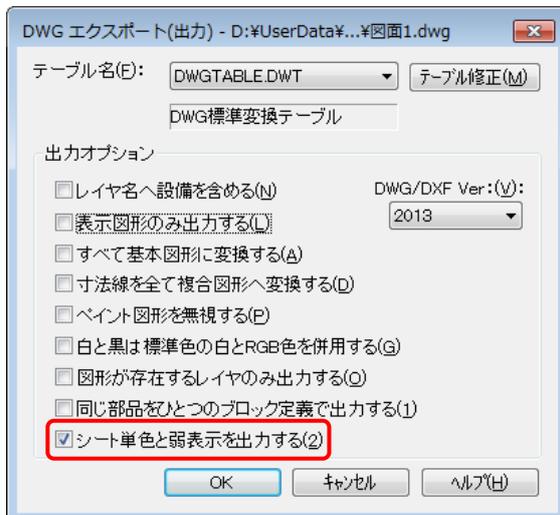
[#1]メニューバー[ツール]–[図面変換テーブルメンテナンス]の[テーブル修正]の【図面変換テーブル】ダイアログ



5. 単色指定シートの DWG 出力について

- (1) DWG 出力#1のときに、シート単色指定で表示されている図形色を保持して出力できるようにしました。弱表示(レベル2を除く)も同様に出力されます。

[#1]メニューバー[ファイル]–[名前を付けて保存]の【DWG エクスポート(出力)】ダイアログ



6. DWG 読み込みのペイント図形の表示順について

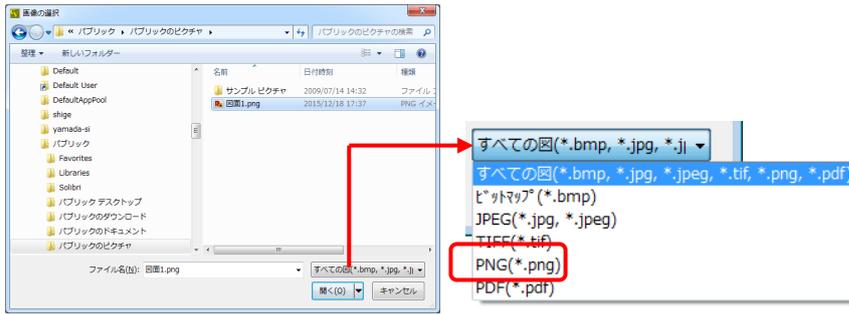
- (1) DWG 入力#1のときに、AutoCAD 上で表現されているペイントの表示順のまま入力されるようにしました。

[#1]メニューバー[ファイル]–[開く]

7. png 入出力について

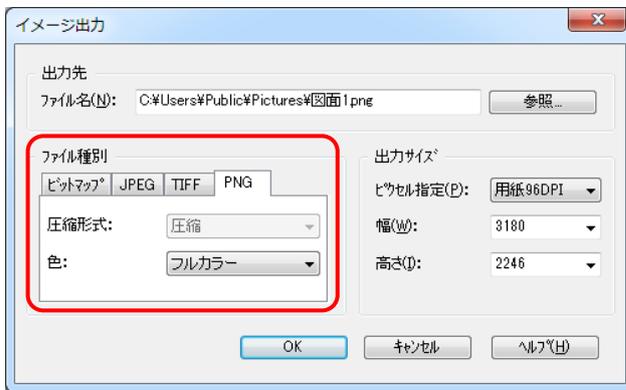
- (1) [イメージ]-[読み込み] [#1]の対象に、png を追加しました。

[#1]メニューバー[ツール]-[イメージ]-[読み込み]の【画像の選択】ダイアログ



- (2) [イメージ]-[ファイル出力]の対象[#1]に、png を追加しました。

[#1]メニューバー[ツール]-[イメージ]-[ファイル出力]の【イメージ出力】ダイアログ



8. SXF 図面 (*.sfz、*.p2z) の入出力について

- (1) CAD 製図基準の改訂に伴い、SXF 図面の圧縮形式 (*.sfz、*.p2z) の入出力[#1]に対応しました。図面ファイル (*.sfc または *.p21)、属性ファイル (*.saf)、ラスタファイル (*.tif)、画像ファイル (*.jpg) を圧縮して入出力します。

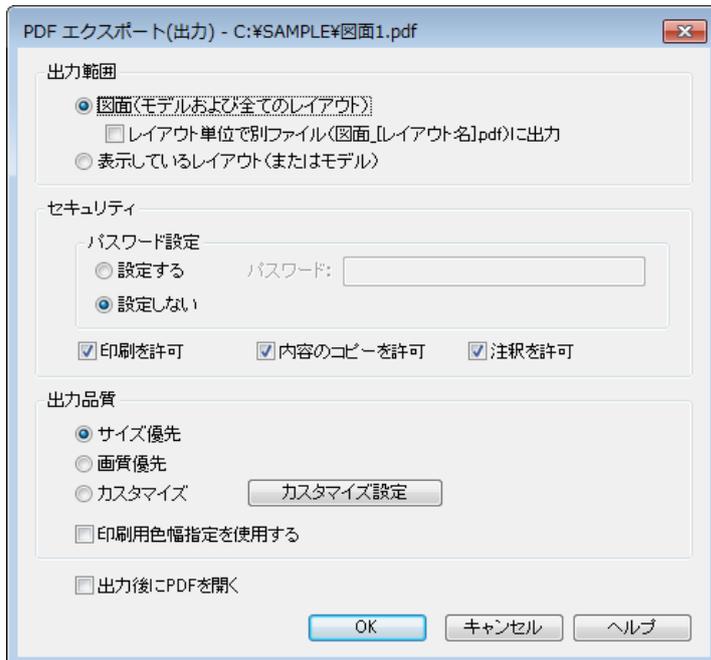
[#1]メニューバー[ファイル]-[開く]

メニューバー[ファイル]-[名前を付けて保存]

9. PDF 出力について

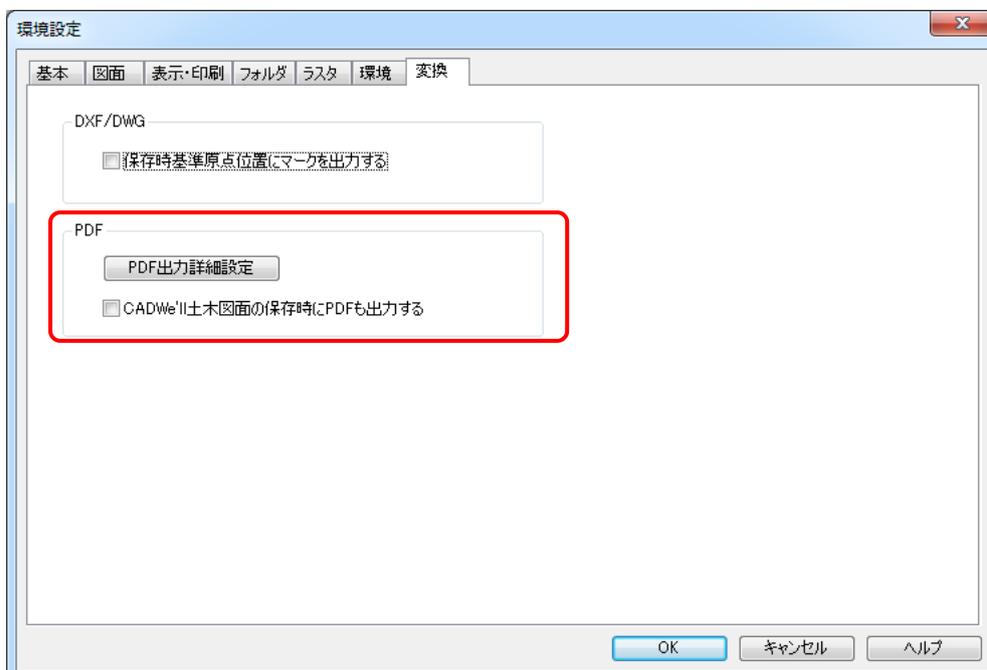
- (1) 開いている図面を PDF として出力^[#1]できるようにしました。出力時に、出力範囲、セキュリティ、出力品質を指定できます。

[#1]メニューバー[ファイル]-[名前を付けて保存]の【PDF エクスポート (出力)】ダイアログ



- (2) CADWe'll 土木図面を保存する際に、その図面を PDF として同時に出力できるようにしました。PDF の出力設定は環境設定^[#1]で行います。

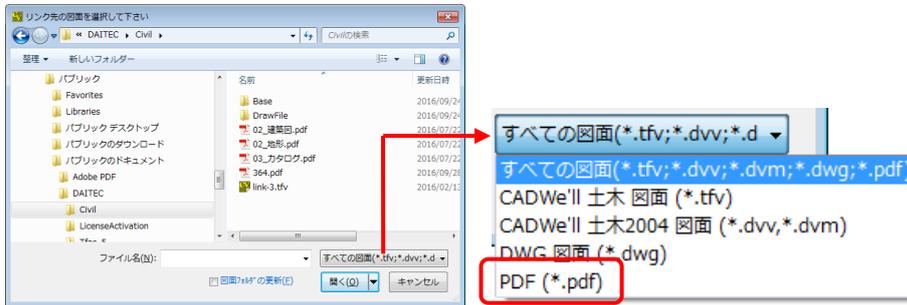
[#1]メニューバー[設定]-[環境設定]の【環境設定】ダイアログ-[変換]タブ



10. PDF の外部リンクについて

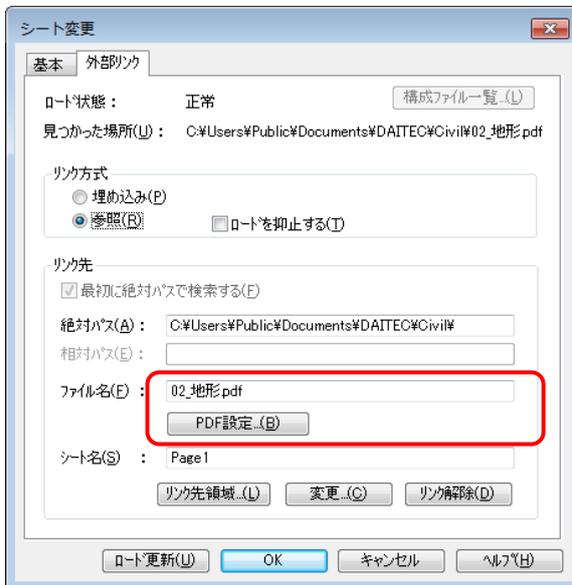
- (1) 外部リンクの対象[#1]に、PDF を追加しました。PDF を外部リンクとして、任意の図面に貼り付けることができます。

[#1]ツールバーカスタマイズの「設定」分類にある[指定図面の指定領域にある図形を図面展開時に複写] 



- (2) AutoCAD で作成された DWG の PDF アンダーレイを、上記の外部リンク[#1]として読み込むようにしました。また、PDF の外部リンクは、DWG 出力時には PDF アンダーレイとして出力されます。

[#1]シートタブの右クリックメニュー[プロパティ]-[外部リンク]タブ



- (3) [イメージ]-[読み込み]の対象[#1]に、PDF を追加しました。PDF 内のイメージ画像だけを抽出し、イメージ図形として貼り付けます。

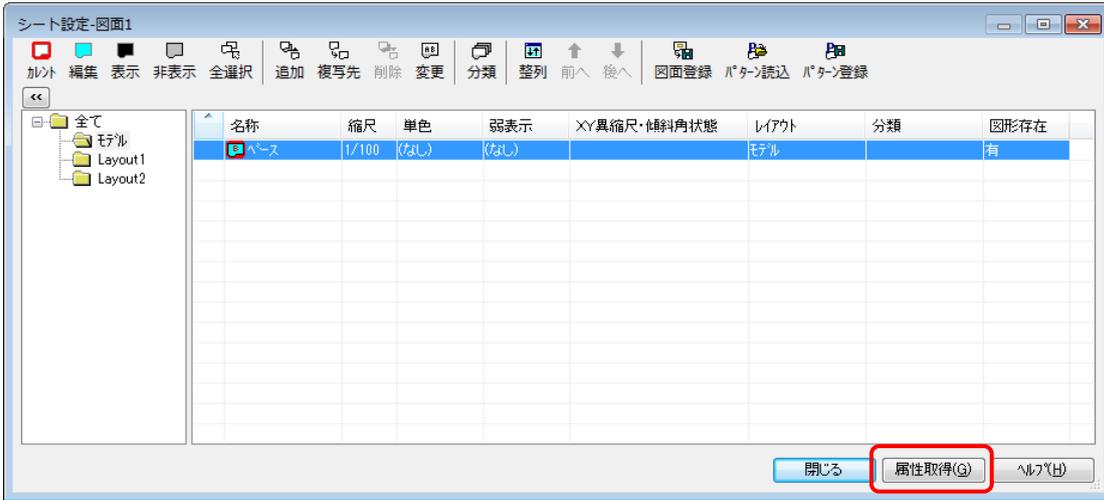
[#1]メニューバー[ツール]-[イメージ]-[読み込み]の【画像選択】ダイアログ



11. シート属性取得について

- (1) 任意の図形を指定することで、その図形の所属シートをカレントシートに設定^[#1]できるようにしました。

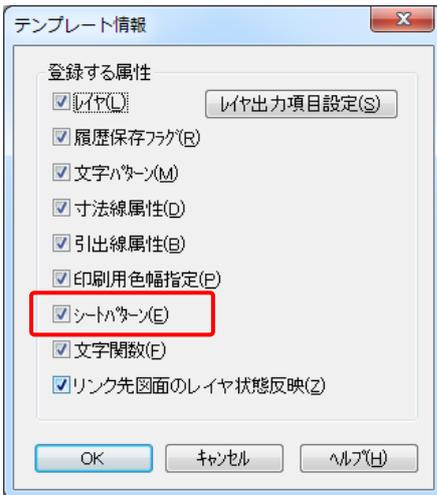
[#1]メニューバー[設定]-[シート機能]-[設定]の【シート設定】ダイアログ



12. シートパターンについて

- (1) シートパターンをテンプレート情報として登録できるようにしました。テンプレートからの上書きにより、他の図面に適用することができます。

[#1]メニューバー[ファイル]-[テンプレートの保存]の【テンプレート情報】ダイアログ



13. シートおよびシート分類の UI について

- (1) シートタブとシート分類タブを二行表示し、常に、分類内のシートの状態を確認できるようにしました。シートタブの上辺を掴んでドラッグすることで、従来の一行表示に切り替えることもできます。

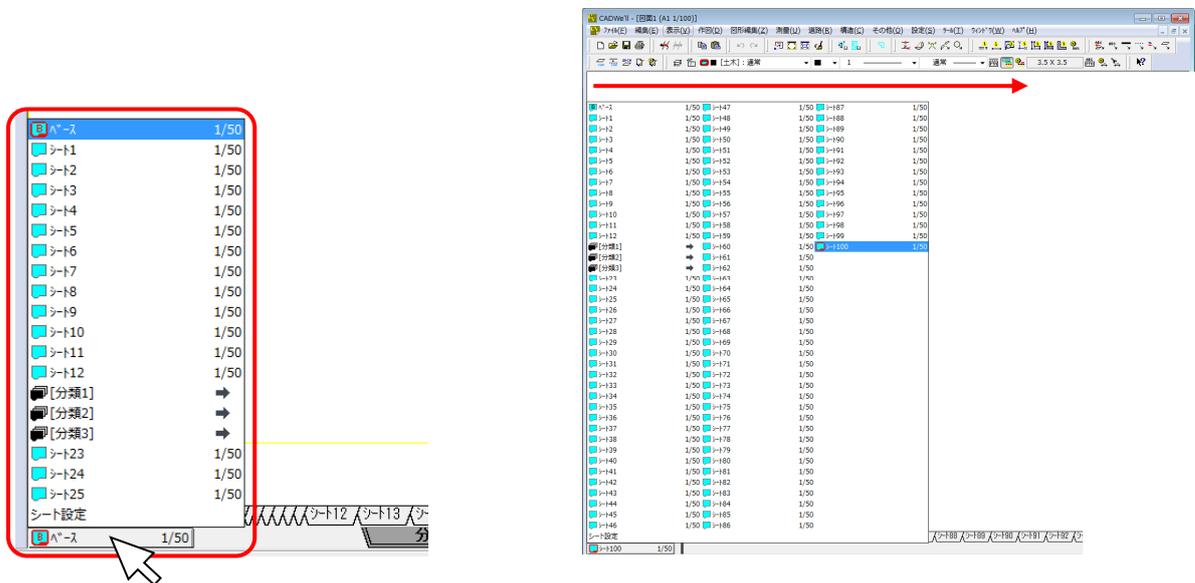


- (2) シートの枚数が多い場合は、両端付近のシートが縮小表示されるようにしました。縮小表示されているシートタブまたはシート分類タブをクリックすることで、その部分を元の大きさに表示される位置へスクロールさせることができます。また、マウスのホイールで左右にスクロールさせることができます。



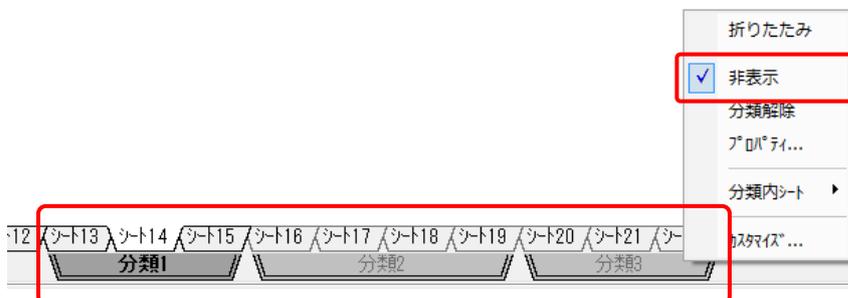
- (3) シート管理[#1]から表示されるシートリスト表示を変更し、全シートを一覧できるようにしました。シートリスト上で、各シートの表示状態の変更とカレントシートの切り替えができます。また、シートの枚数が多い場合は、シートリストが横方向に拡大し、スクロールの手間が発生しないようにしました。

[#1]ツールバーカスタマイズの「設定」分類にある[シート管理を表示]  1/50



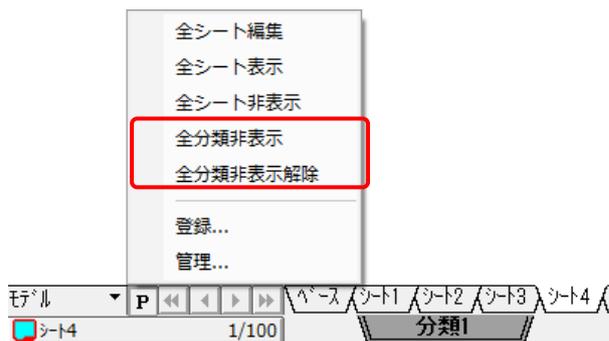
- (4) シート分類を非表示に設定[#1]できるようにしました。非表示に設定した場合、そのシート分類に属するシート上の図形が非表示となります。その際、各シートの表示状態（編集、表示、非表示）は変更されません。また、非表示の分類がカレントシートを有する場合は、一時的に非表示が解除されます。

[#1]シート分類タブの右クリックメニュー[非表示]



(5) 既定シートパターン[#1]に、“全分類非表示”と“全分類非表示解除”を追加しました。

[#1]シートタブおよびシート分類の[シートパターン] **P**



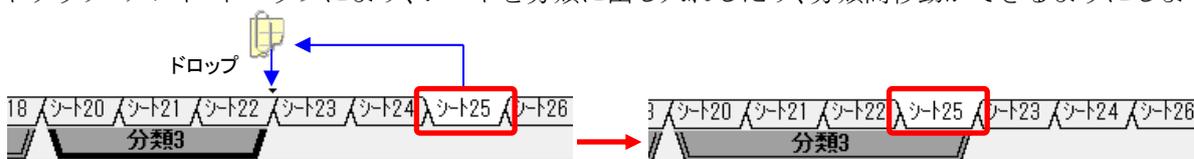
(6) シートの[新規作成] [#1]を行った場合、新規シートが、右クリックしたシートの右隣りに作成されるようにしました。

[#1]シートの右クリックメニュー[新規作成]



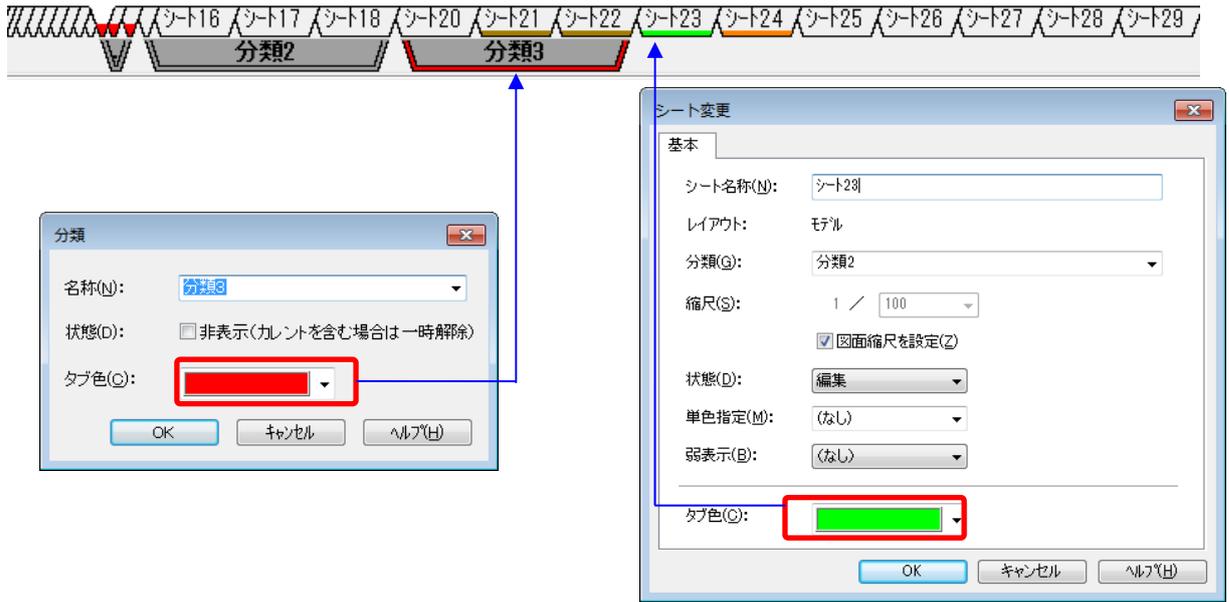
(7) スクロールバーを廃止し、シートタブの表示領域がより多く確保されるようにしました。

(8) ドラッグ アンド ドロップにより、シートを分類に出し入れしたり、分類間移動ができるようにしました。



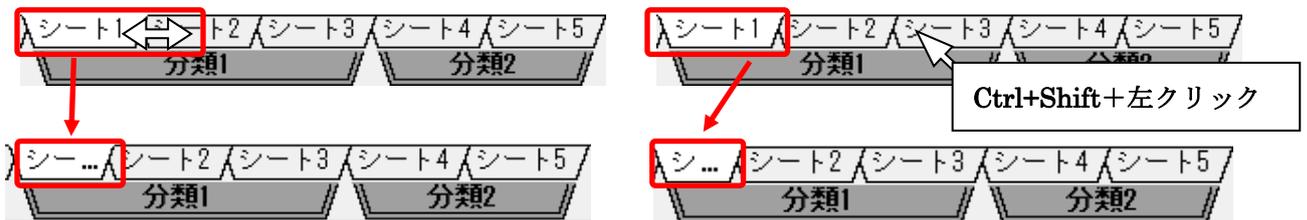
- (9) シートタブおよび分類タブに任意の色を指定^{【#1】}し、色分けできるようにしました。タブ色はタブが縮小されていても確認できます。

【#1】シート分類タブの右クリックメニュー[プロパティ]の【分類】ダイアログ
シートタブの右クリックメニュー[プロパティ]の【シート変更】ダイアログ



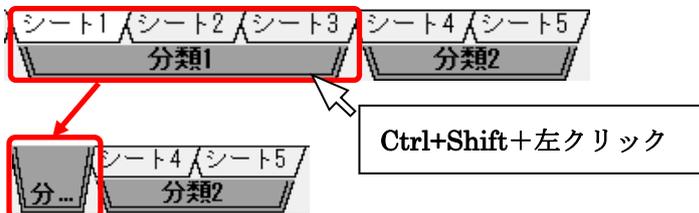
- (10) シートタブの幅を調整できるようにしました。タブの右端を掴み左右にスライドさせて任意の幅にすること、または、タブ上で“Ctrl+Shift+左クリック”して最小幅にすることができます。最小幅は、シートタブ設定ダイアログ^{【#1】}の“シートタブ最小幅”で設定します。

【#1】シートタブの右クリックメニュー[カスタマイズ]の【シートタブ設定】ダイアログ



- (11) 分類タブ上で“Ctrl+Shift+左クリック”して最小幅にすること（折りたたみ）ができるようにしました。最小幅は、シートタブ設定ダイアログ^{【#1】}の“シートタブ最小幅”で設定します（シートタブと共通）。

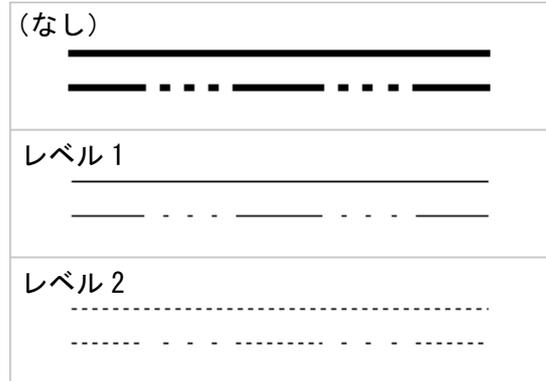
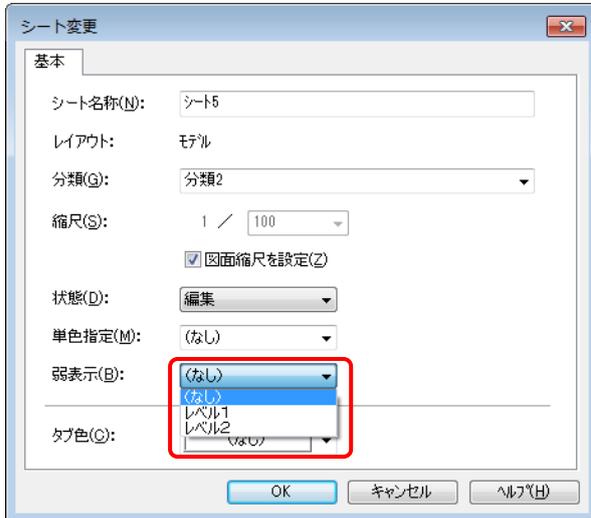
【#1】シートタブの右クリックメニュー[カスタマイズ]の【シートタブ設定】ダイアログ



14. シートの弱表示について

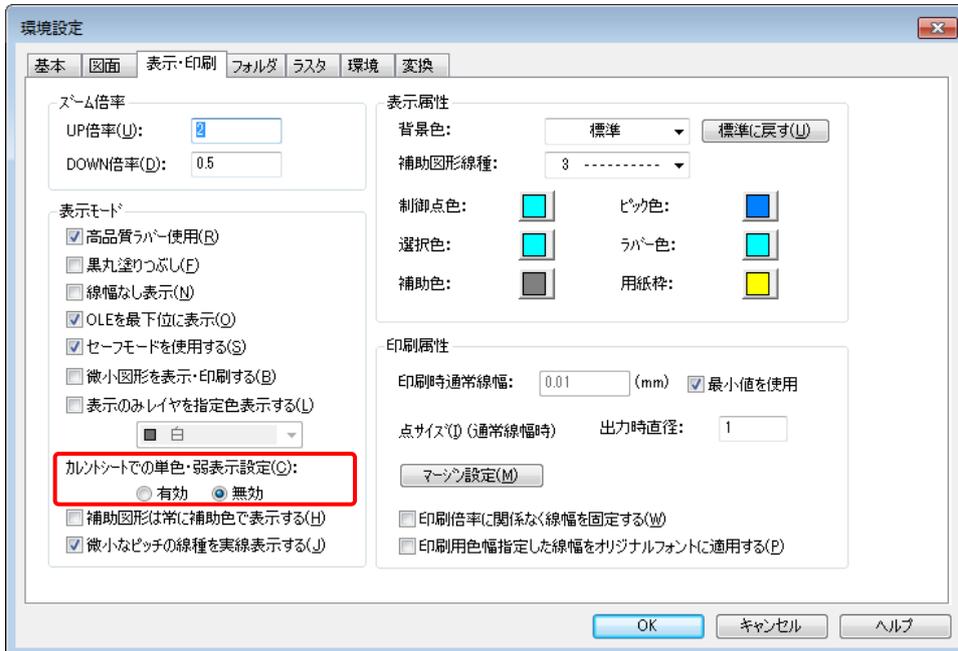
- (1) 図形の属性を変更せずに、図形の表示レベルをシート単位で設定[#1]できるようにしました。レベル1は、線幅なし表示となります。レベル2は、線幅なしに加えて、点線表示となります。点線表示となっても、下図のように、元の線種のパターンの特徴を残した表示となります。単色指定と合わせて使用するとさらに効果が出ます。

[#1]メニューバー[設定]-[シート機能]-[設定]の【シート設定】ダイアログの[変更]の【シート変更】ダイアログ
シートタブの右クリックメニュー[プロパティ]の【シート変更】ダイアログ



- (2) 弱表示は、カレントシートでの“有効・無効”を選択することができます。この設定は、単色指定と共通であり、同時に適用されます。

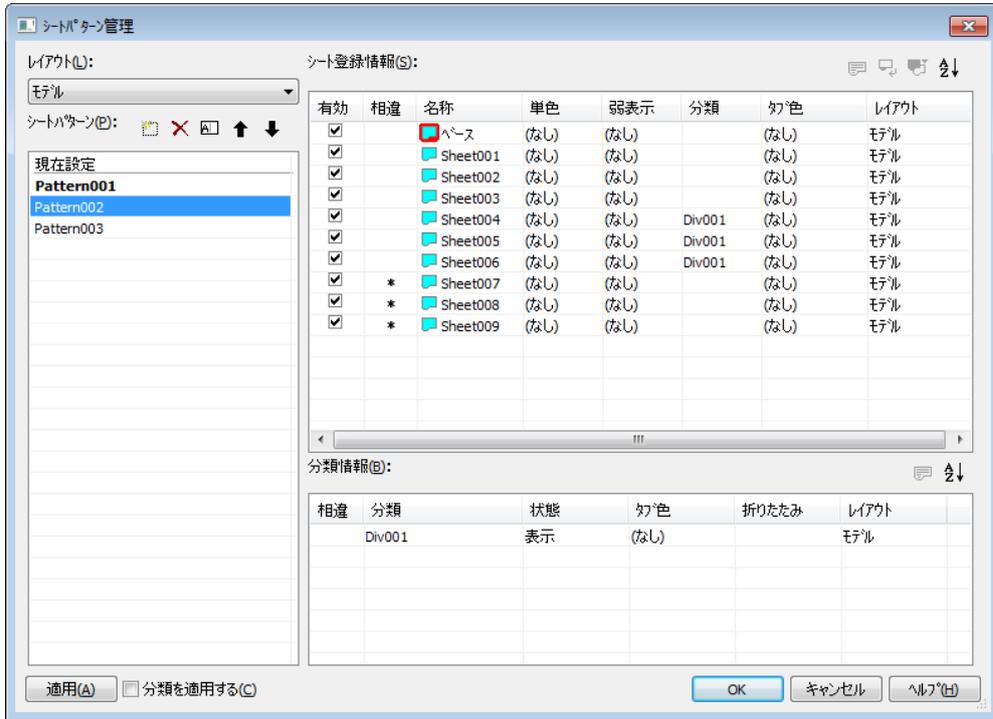
[#1]メニューバー[設定]-[環境設定]の【環境設定】ダイアログの[表示・印刷]タブ



15. シートパターンの編集について

- (1) 登録済みシートパターンの内容の確認および編集[#1]をできるようにしました。シートパターン登録後に作成されたシートを登録済みシートパターンに追加することもできます。

[#1]メニューバー[設定]→[シート機能]→[設定]の【シート設定】ダイアログ→“パターン読込”ボタン→[シートパターン管理]の【シートパターン管理】ダイアログ



- (2) シートパターンを適用する直前のシート状態に戻す[#1]ができるようにしました。[シート状態を直前に戻す]を実行する直前のシート状態が直前の状態として記憶されます。

[#1]ツールバーカスタマイズの「設定」分類にある[シート状態を直前に戻す]

16. シート/レイアウト複写時の基準について

- (1) シート複写[#1]の際に、図形は、複写元/先シートの基準原点を基準として複写されるようにしました。

[#1]シートタブの右クリックメニュー[シート複写先]

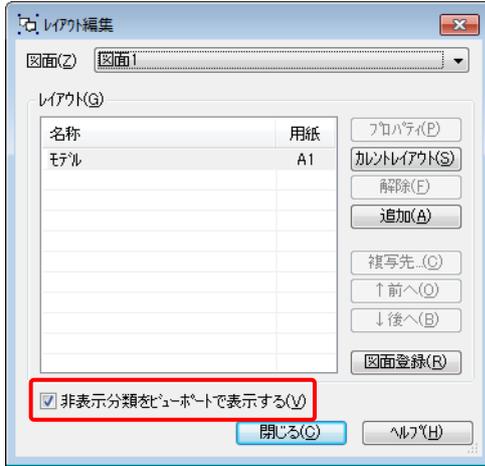
- (2) レイアウト複写[#1]の際に、ビューポート参照領域は、複写元/先図面のモデルの基準原点を基準として複写されるようにしました。

[#1]レイアウト切り替えの右クリックメニュー[レイアウトの複写先]

17. 非表示シート分類のレイアウト側での表示について

- (1) 非表示に設定されたシート分類のレイアウト側（ビューポート）での表示状態を、図面ごとに設定できるようになりました。

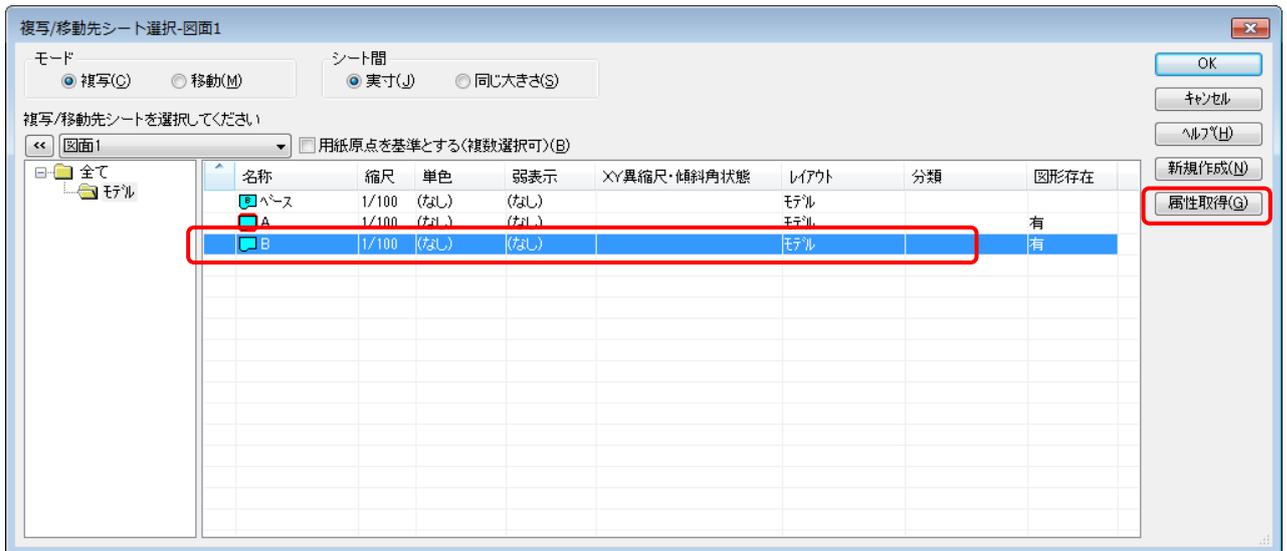
【#1】メニューバー[設定]-[シート機能]-[レイアウト編集]の【レイアウト編集】ダイアログ



18. シート移動複製の属性取得について

- (1) [シート機能]-[移動複製]の複製/移動先シート選択ダイアログ【#1】に属性取得を設け、複製/移動先を、そこに所属する図形を指示することで、設定できるようにしました。

【#1】メニューバー[設定]-[シート機能]-[移動複製]の【複製/移動先シート選択】ダイアログ



19. カレントシート削除時のカレント設定について

- (1) カレントシートを削除【#1】したときに、そのシートの近傍でカレントとなり得るシートがカレントに設定されるようにしました。

【#1】シートタブの右クリックメニュー[削除]

20. レイヤ状態設定のツリー表示について

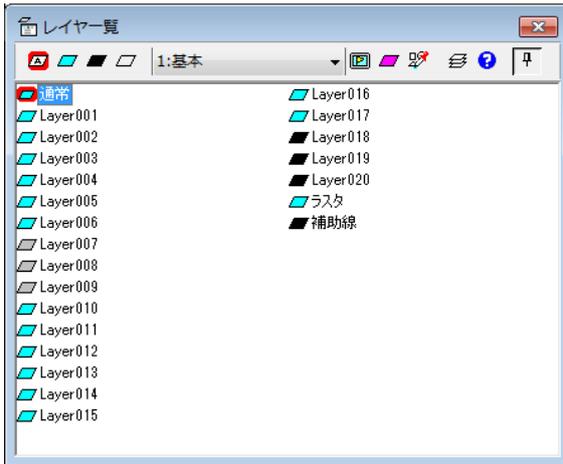
- (1) レイヤ状態設定#1のツリー表示において、CAD 起動中は、ツリーの展開状態およびグループフォルダの選択状態を保持するようにしました。

[#1]メニューバー[設定]-[レイヤ]-[設定]

21. レイヤー一覧について

- (1) <<新規コマンド>>常時表示できるレイヤー一覧#1を追加しました。他のコマンドを実行中でも表示されます。また、レイヤ状態等の変更機能に加えて、特定のレイヤに所属する図形を強調表示することもできます。

[#1]ツールバーの[レイヤー一覧表示]  の【レイヤー一覧】ダイアログ



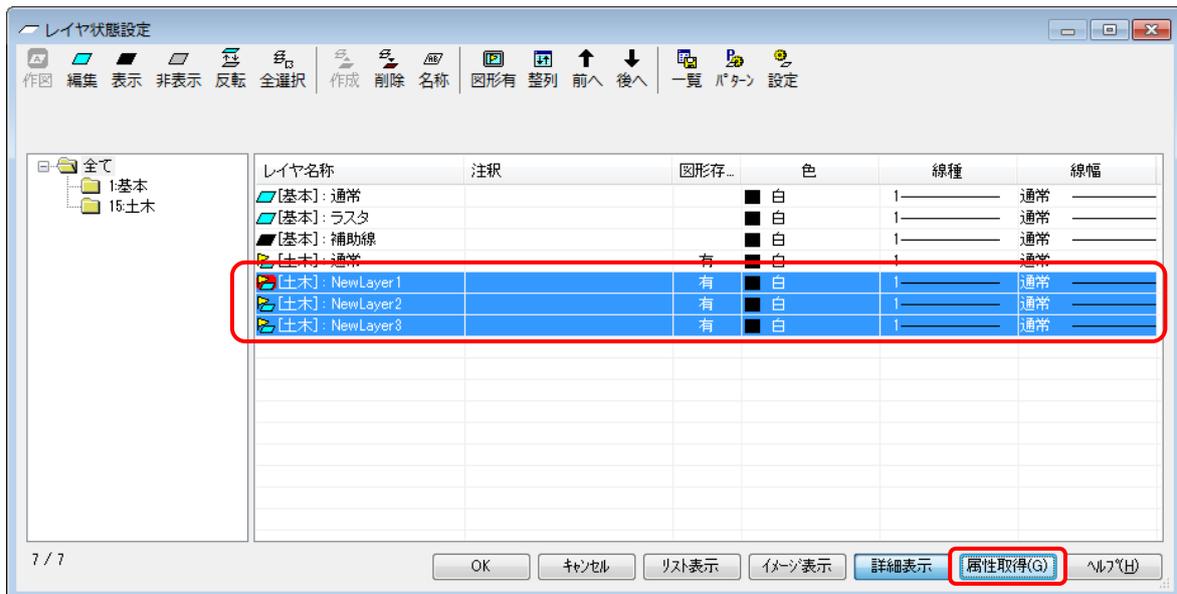
22. レイヤ選択の属性取得について

- (1) レイヤ状態設定ダイアログ#1、および、レイヤ選択ダイアログ#2の属性取得において、指定図形が使用しているすべてのレイヤが選択されるようにしました。

[#1]メニューバー[設定]-[レイヤ]-[設定]の【レイヤ状態設定】ダイアログ

[#2]メニューバー[図形編集]-[選択]-[レイヤ選択]の【レイヤ選択】ダイアログ

例) “NewLayer1~3” の3つのレイヤに跨る図形を属性取得で指示すると、それらのすべてレイヤが選択されます。

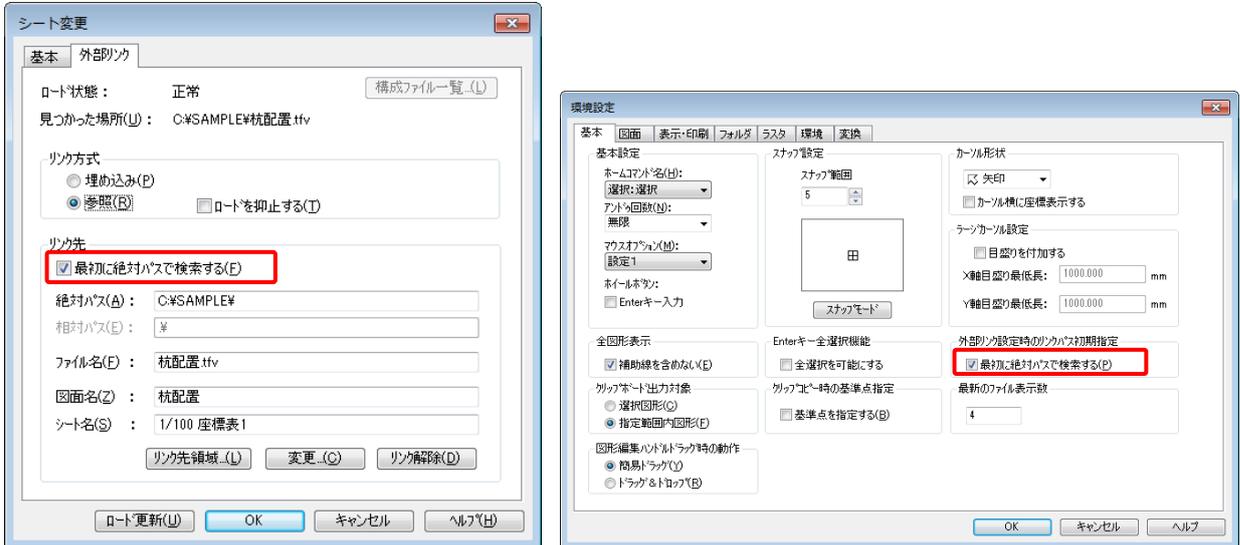


23. 外部リンク先の検索順序について

- (1) 外部リンク先パスの検索順序を指定#1]できるようにしました。設定をオフにすることで、絶対パスを使用しないようにすることができます。
また、その設定は、環境設定#2]にてデフォルト値を設定できます。

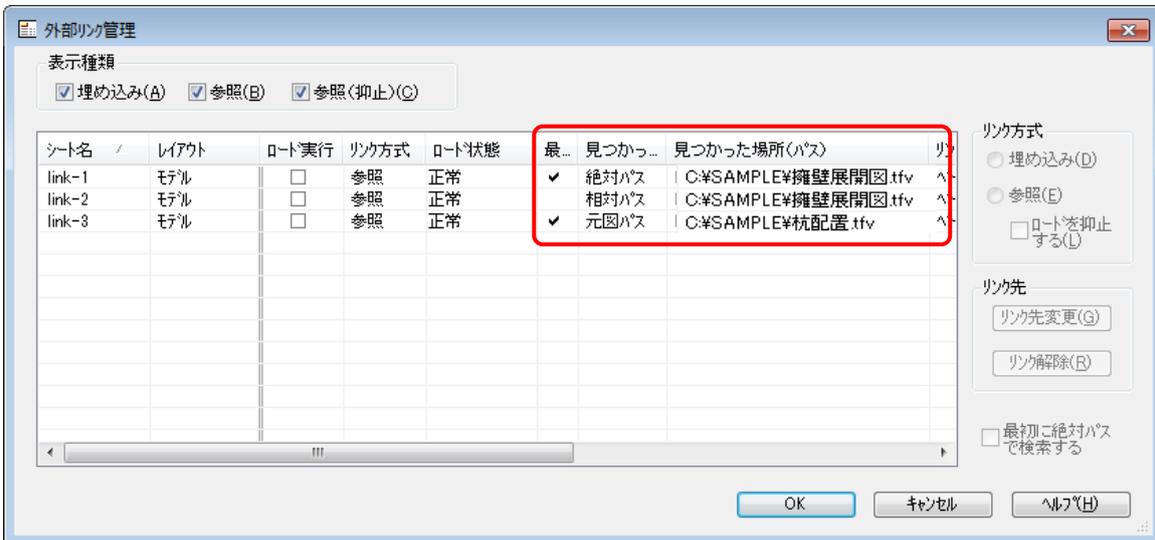
[#1] (外部リンク) シートタブ[プロパティ]の【シート変更】ダイアログ-[外部リンク]タブ

[#2]メニューバー[設定]-[環境設定]の【環境設定】ダイアログ-[基本]タブ



- (2) 外部リンク管理ダイアログで、外部リンク先図面の見つかった場所を表示するとともに、その場所が“絶対パス”、“相対パス”、“元図パス”のいずれであるかが、ひと目でわかるようになりました。

[#1]ツールバーカスタマイズの「設定」分類にある[外部リンクの一括管理を行う] 



24. 外部リンクのリンク領域編集について

- (1) ≪新規コマンド≫外部リンクのリンク元領域とリンク先領域を領域編集ハンドルで編集^[#1]（拡張、移動、回転）できるようにしました。

[#1] ツールバーカスタマイズの「設定」分類にある[リンク領域を編集する] 

リンク元図面：図面1

リンク先シート名	レイアウト	リンク先図面パス
ベース(1)	モデル	C:\SAMPLE\側壁展開図.tfv
1/100 統合2	モデル	C:\SAMPLE\擁壁展開図.tfv
1/100 切出先3	モデル	C:\SAMPLE\擁壁展開図.tfv
1/100 切出先2	モデル	C:\SAMPLE\擁壁展開図.tfv
1/100 統合1	モデル	C:\SAMPLE\擁壁展開図.tfv

No	計算式	面積
1	$(2.250 + 3.250) \div 2 \times 3.500$	9.625
2	$(3.250 + 3.550) \div 2 \times 3.600$	12.240
3	$(3.550 + 3.800) \div 2 \times 3.000$	11.025
4	$(3.800 + 3.800) \div 2 \times 3.000$	11.400
5	$(3.800 + 3.750) \div 2 \times 4.000$	15.100
6	$(3.750 + 3.450) \div 2 \times 10.000$	36.000
7	$(3.450 + 3.150) \div 2 \times 7.250$	23.925
8	$(3.150 + 3.550) \div 2 \times 8.100$	27.135
9	$(3.550 + 2.950) \div 2 \times 4.000$	13.000
10	$(2.950 + 1.600) \div 2 \times 3.250$	7.394
11	$(1.600 + 0.800) \div 2 \times 5.400$	6.480
12	$(0.800 + 0.800) \div 2 \times 8.000$	6.400
13	$(0.800 + 1.800) \div 2 \times 5.400$	7.020
14	$(1.800 + 1.500) \div 2 \times 3.500$	5.775
15	$(1.500 + 1.200) \div 2 \times 3.000$	4.050
	合計	196.569

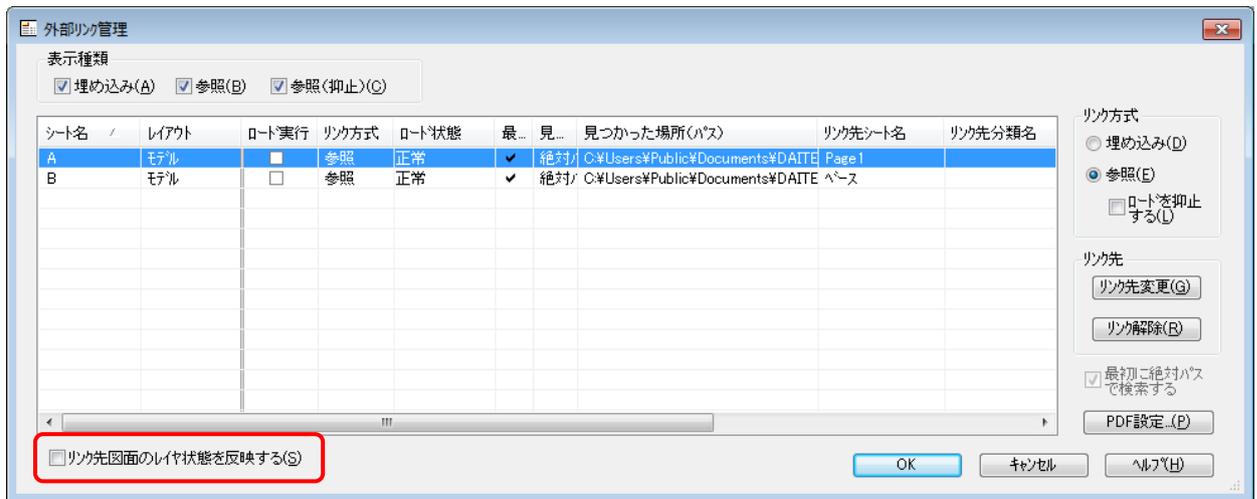
[ベース(1)] - (側壁展開図.tfv) - ベース

リンク領域

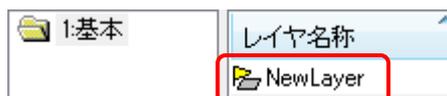
25. 外部リンク先のレイヤ属性の反映について

- (1) 外部リンクでの貼付けや、そのロード更新のときに、リンク先のレイヤ状態（表示状態、ByLayer 属性）を反映できるようにしました。リンク元図面単位で反映の有無を設定^[#1]できます。

[#1] ツールバーカスタマイズの[設定]分類にある[外部リンクの一括管理を行う]  の【外部リンク管理】ダイアログ



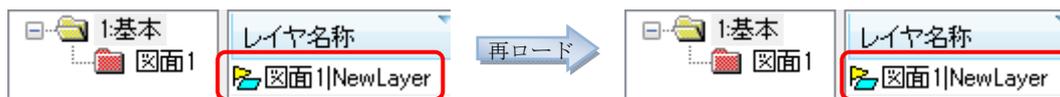
例) リンク先のレイヤ状態を“編集”から“非表示”に変更し、それぞれのモードで再ロードします。



- ① “リンク先図面のレイヤ状態を反映する=ON”で再ロードした場合：リンク先のレイヤ状態が反映され、“非表示”となります。



- ② “リンク先図面のレイヤ状態を反映する=OFF”で再ロードした場合：リンク先のレイヤ状態は反映されず、“編集”のままとなります（従来仕様）。



26. 外部リンク参照領域の一斉拡張について

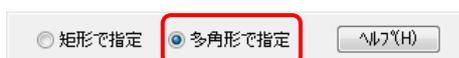
- (1) [外部リンク]-[領域編集]^[#1]で選択された複数の参照領域が一斉に拡張されるようにしました。

[#1] ツールバーカスタマイズの[設定]分類にある[リンク領域を編集する] 

27. 多角形ビューポートについて

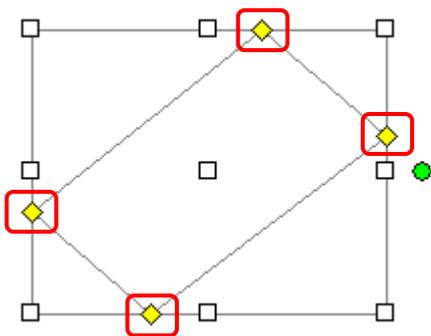
- (1) ビューポート枠を多角形で指定^[#1]できるようにしました。

[#1] メニューバー[設定]-[シート機能]-[レイアウト編集]



- (2) ビューポートの枠 移動・拡大縮小¹⁾で多角形の形状を変更できるようにしました。黄色のハンドルをクリックして変更します。

[#1]メニューバー[設定]-[シート機能]-[ビューポート枠移動拡大縮小]



28. レイアウト指定の図面登録について

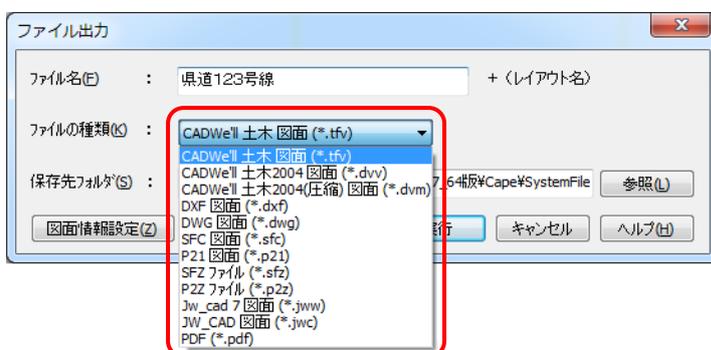
- (1) <<新規コマンド>>レイアウト単位で図面登録¹⁾できるようにしました。複数のレイアウトを一度に図面登録することができます。

[#1]メニューバー[設定]-[シート機能]-[図面登録]-[レイアウト指定]の【レイアウト選択】ダイアログ



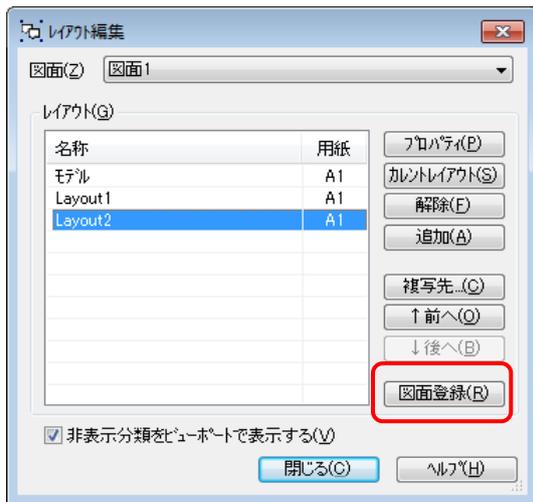
- (2) <<新規コマンド>>通常の図面保存と同じ“ファイルの種類”で図面登録¹⁾することができます。

[#1]メニューバー[設定]-[シート機能]-[図面登録]-[レイアウト指定]の【ファイル出力】ダイアログ



(3) レイアウト編集[#1]からもレイアウト単位で図面登録できるようにしました。

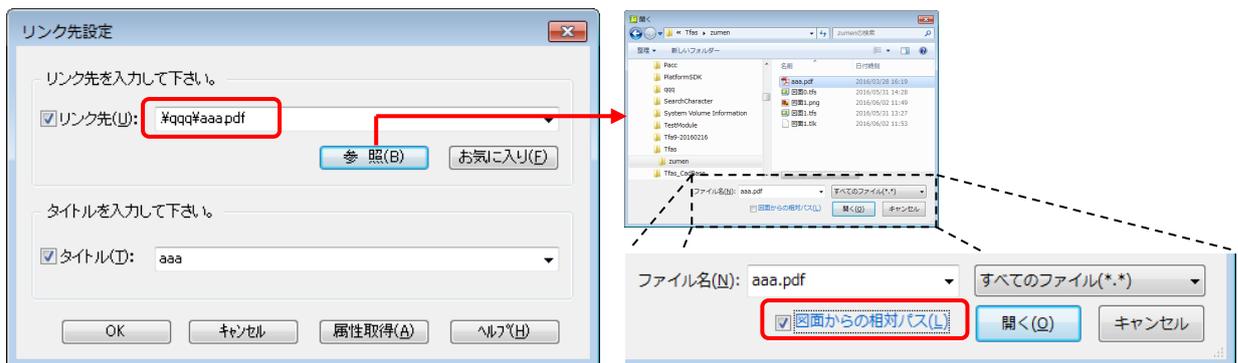
[#1]メニューバー[設定]-[シート機能]-[レイアウト編集]の【レイアウト編集】ダイアログ



29. ハイパーリンクの相対パス指定について

(1) ハイパーリンクのパスを相対指定[#1]できるようにしました。図面を基準とした相対パスとなります。参照ボタンからリンク先を指定する場合は、“図面からの相対パス”をチェックするだけで簡単に相対パスとなります。

[#1]ツールバーカスタマイズの[設定]分類にある[リンク先を設定] の【リンク先設定】ダイアログ

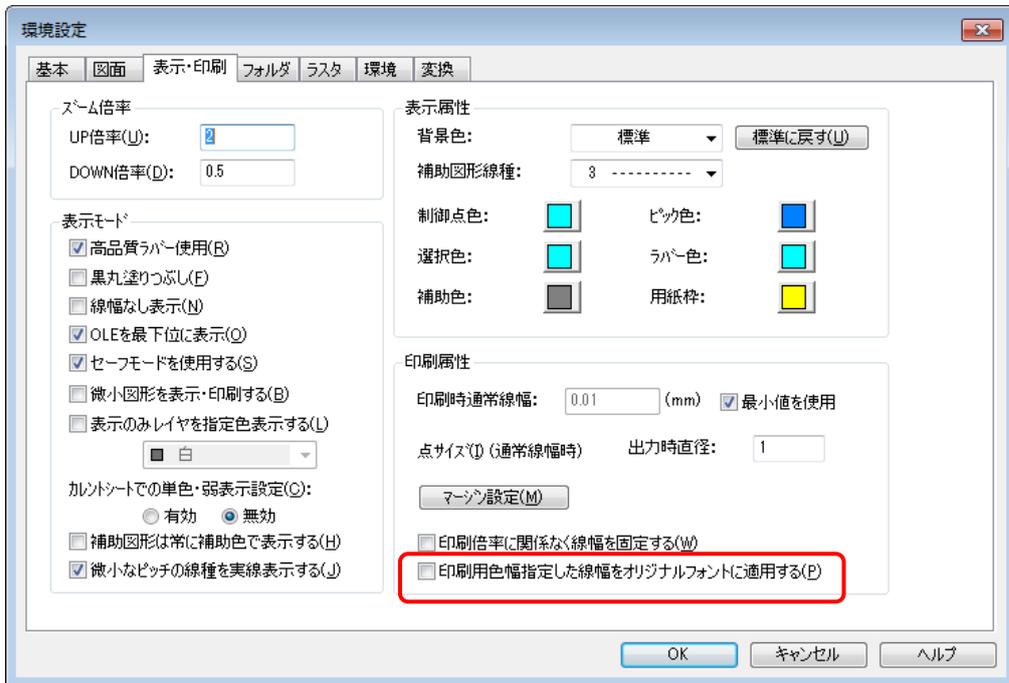


30. 印刷用色幅指定の改善について

- (1) 印刷用色幅指定#1の線幅を、オリジナルフォントにも適用できるようにしました。適用の有無は環境設定#2で設定します。

#1]メニューバー[ファイル]-[図面情報設定]の<印刷用色幅指定>ボタンー【印刷用色幅指定】ダイアログ

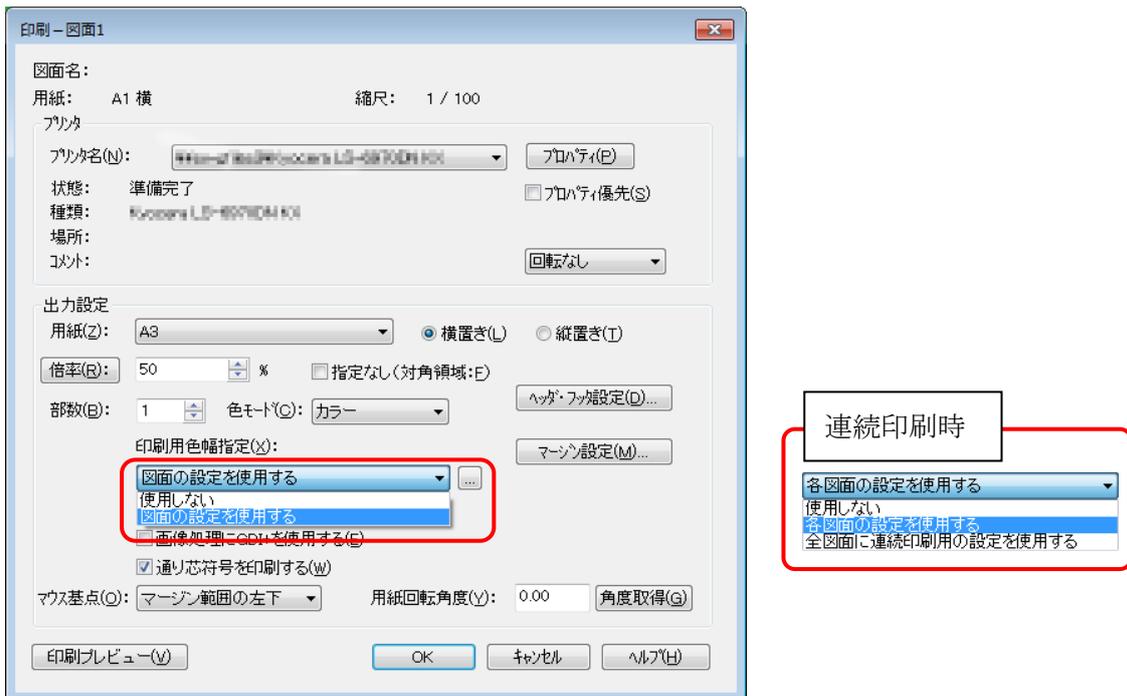
#2]メニューバー[設定]-[環境設定]の【環境設定】ダイアログー[表示・印刷]タブ



31. 印刷ダイアログでの印刷用色幅指定について

- (1) 印刷ダイアログ#1から印刷用色幅指定を設定できるようにしました。また、連続印刷のときに連続印刷用の印刷用色幅指定を設定して、複数の図面を連続印刷できるようにしました。

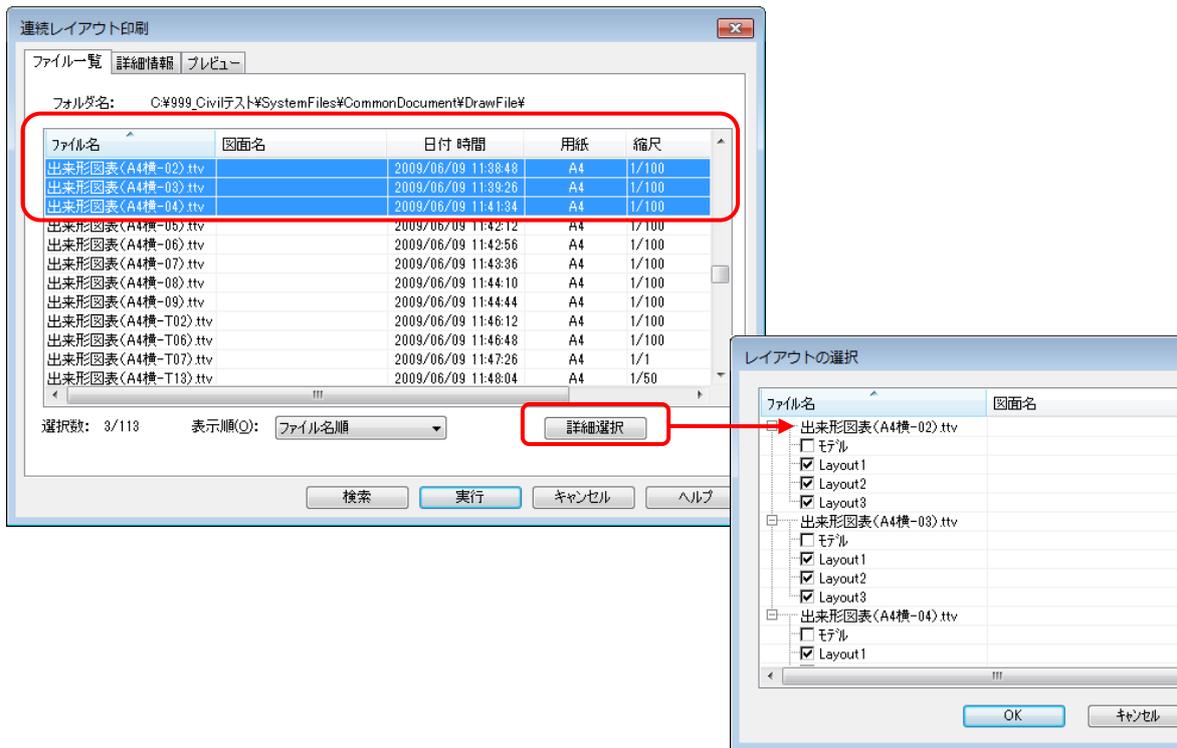
#1]メニューバー[ファイル]-[印刷]/[連続印刷]の【印刷】ダイアログ



32. 連続レイアウト印刷について

- (1) ≪新規コマンド≫複数図面の複数レイアウトを連続印刷^[#1]できるようにしました。

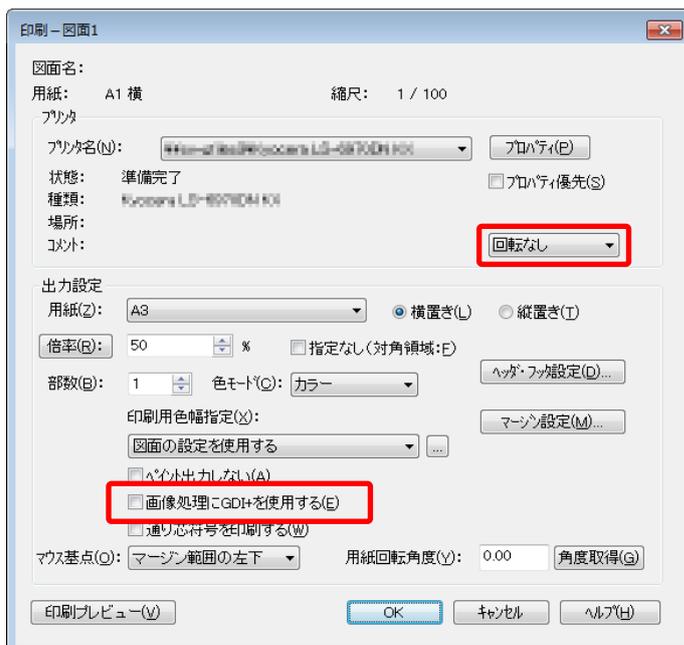
[#1]メニューバー[ファイル]-[連続レイアウト印刷]の【連続レイアウト印刷】ダイアログ



33. 印刷について

- (1) “回転なし”で印刷^[#1]する際の画像処理に、GDI+を使用するか否かを選択できるようにしました。画像の印刷に問題があるときに、GDI+を使用することで問題が改善される場合があります。

[#1]メニューバー[ファイル]-[印刷]の【印刷】ダイアログ

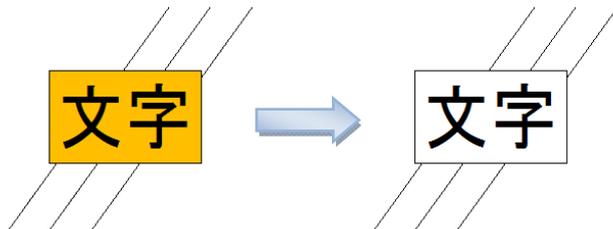


34. 印刷時の文字飾り背景について

- (1) 文字飾りの背景を表示しない設定の文字を、“ペイント出力しない”を ON で印刷^[#1]した場合に、ペイント色だけがなくなり、背景を表示しない状態が保持されるようになりました。また、ペイントを非表示^[#2]とした場合も同様です。

[#1]メニューバー[ファイル]-[印刷]の【印刷】ダイアログ

[#2]メニューバー[作図]-[ペイント]-[ペイント非表示]



35. OLE の印刷について

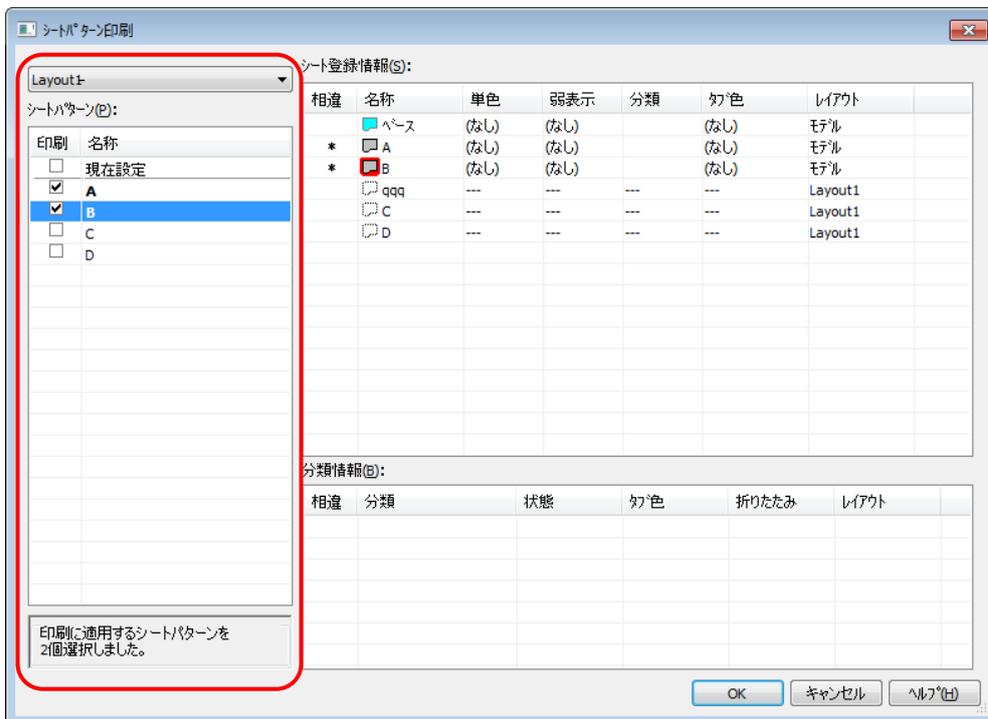
- (1) レイアウトを印刷^[#1]した際に、OLE の枠線が印刷されないようになりました。

[#1]メニューバー[ファイル]-[レイアウト印刷]

36. シートパターン印刷について

- (1) 対象の図面を、複数のシートパターンで連続印刷^[#1]できるようにしました。

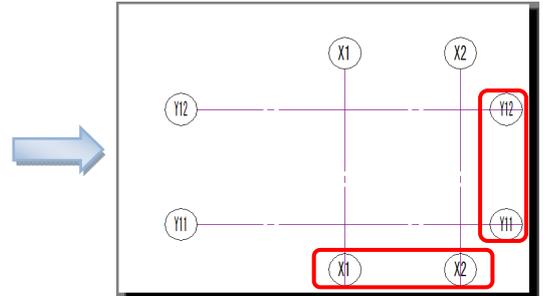
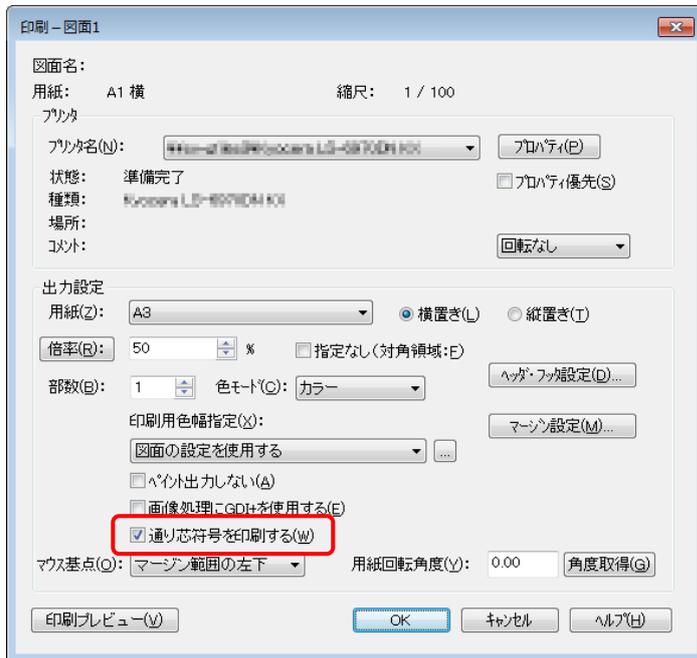
[#1]ツールバーカスタマイズの[ファイル]分類にある[シートパターンを連続印刷]  の【シートパターン印刷】ダイアログ



37. 通り芯符号の印刷について

- (1) 通り芯符号を印刷^{【#1】}できるようにしました。通り芯符号が印刷範囲外にあり、かつ、その通り芯の一部が印刷対象となっているときに、用紙端に印刷されます。

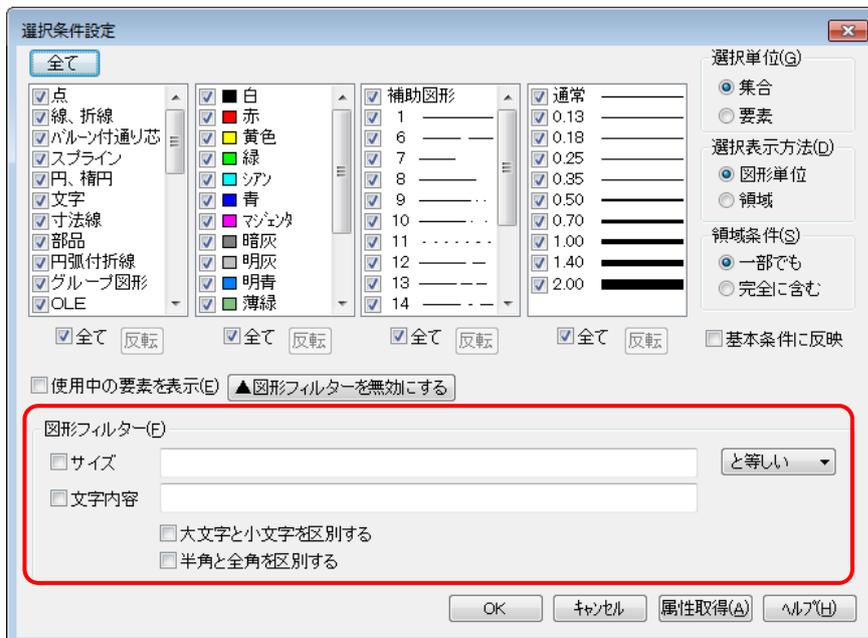
【#1】メニューバー[ファイル]-[印刷]の【印刷】ダイアログ



38. 特定の条件を指定した選択について

- (1) 選択条件^{【#1】}として、従来の条件に加えて、サイズ、文字内容を指定することで選択対象を絞り込むことができるようになりました。

【#1】メニューバー[図形編集]-[選択]-[条件設定]の【選択条件設定】ダイアログ



39. 集合化できないときの選択解除について

- (1) 図形を集合化^{【#1】}するときに、選択図形が複数のシートに跨っている場合には集合化できませんが、その際にも選択状態を解除しないようにしました。

【#1】メニューバー[図形編集]-[集合]

40. 図形情報について

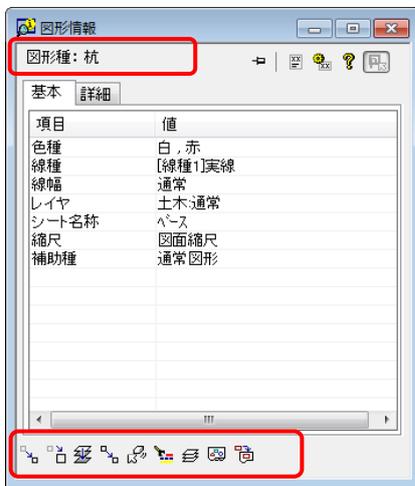
- (1) 図形情報^{【#1】}を、その終了とともに割込み前のコマンドに戻るようにしました。

【#1】メニューバー[表示]-[計測]-[図形情報]

41. 図形情報からのコマンド起動について

- (1) [図形情報]^{【#1】}にツールバーボタンを追加しました。選ばれた図形に関連したコマンドが表示され、それらのコマンドを起動できます。また、図形情報はピンを打って常時表示することもできます。

【#1】ツールバーカスタマイズの[表示]分類にある[指定した図形の情報を表示]  の【図形情報】ダイアログ



42. 文字記入時の図面内文字挿入について

- (1) 文字記入時に、図面内の任意の文字を指定して、文字を挿入^{【#1】}できるようにしました。

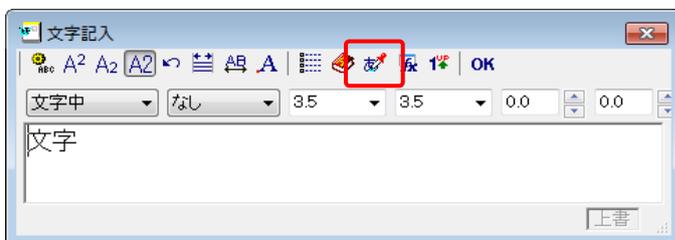
【#1】メニューバー[作図]-[文字]-[文字記入]の【文字記入】ダイアログ

メニューバー[作図]-[文字]-[編集]の【文字編集】ダイアログ

メニューバー[作図]-[文字]-[連続編集]のダイアログ

メニューバー[作図]-[文字]-[連続置換]のダイアログ

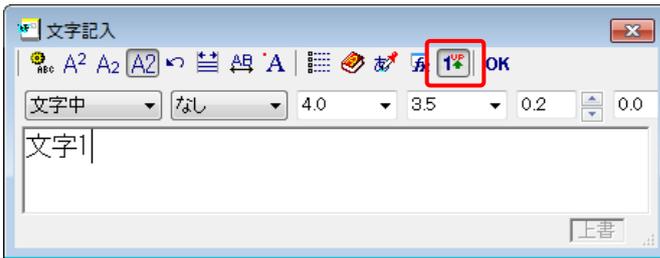
メニューバー[作図]-[引出線]-[引出線記入]の【文字記入】ダイアログ



43. 連続文字について

- (1) 文字記入[#1]の際に、文字列の数値または英字部分をカウントアップしながら記入できるようにしました。

[#1]メニューバー-[作図]-[文字]-[文字記入]の【文字記入】ダイアログ

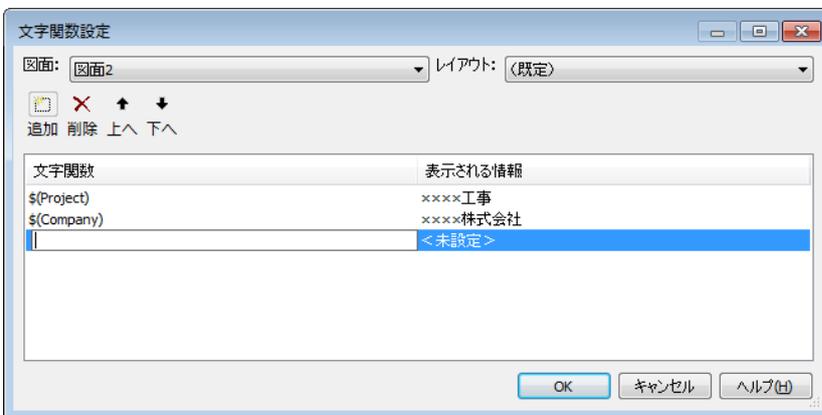


44. 文字関数について

- (1) 任意の文字列を文字関数として登録[#1]し、任意の文字列を表示[#2]できるようにしました。

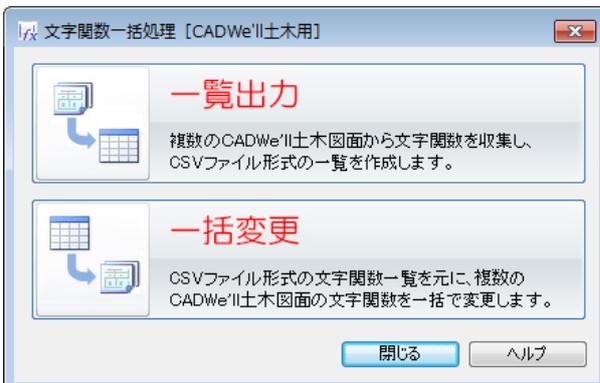
[#1]メニューバー-[ファイル]-[図面情報設定]の【図面情報】ダイアログの[文字関数]の【文字関数設定】ダイアログ

[#2]メニューバー-[作図]-[文字]-[文字記入/編集]の【文字記入/編集】ダイアログの[文字関数] の【文字関数設定】ダイアログ



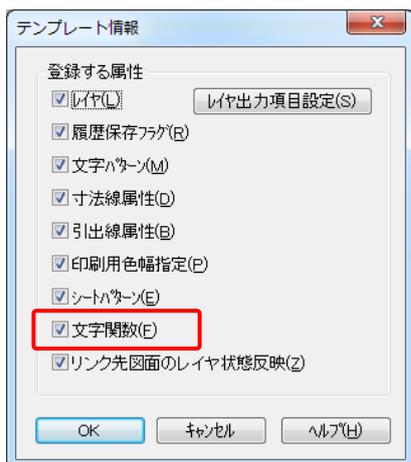
- (2) 文字関数一括処理ツール[#1]により、文字関数によって表示される情報を一括で変更できるようにしました。「一覧出力」は、複数の図面から、設定されている文字関数情報を抽出して CSV ファイルを作成します。その CSV ファイルを編集した後、「一括変更」で編集内容を図面に適用します。

[#1]文字関数一括処理ツール (WFTool.exe) ※WFTool.exe は、スタートメニューから起動できます。



- (3) テンプレート情報[#1]として文字関数が保存されるようにしました。

[#1]メニューバー[ファイル]-[テンプレートの保存]の【テンプレート情報】ダイアログ



45. 文字関数ツールのコマンドライン実行について

- (1) 文字関数ツール (WFTool.exe) [#1]をコマンドライン実行できるようにしました。CSV ファイル等を指定し、“ファイル名を指定して実行”等から実行できます。

[#1]スタートメニューのすべてのプログラム[CADWell 土木]-[文字関数一括処理ツール]

46. 文字合体について

- (1) 文字合体の際に、合体後の文字の属性を設定[#1]できるようにしました。

[#1]メニューバー[作図]-[文字]-[文字合体]-<Shift>+<Enter>で表示されるダイアログ



47. 寸法線の作図方向について

- (1) 寸法線の作図方向に[水平/垂直]を追加[#1]し、指定点とマウスの位置により作図方向の水平と垂直が自動で切り替わるようにしました。

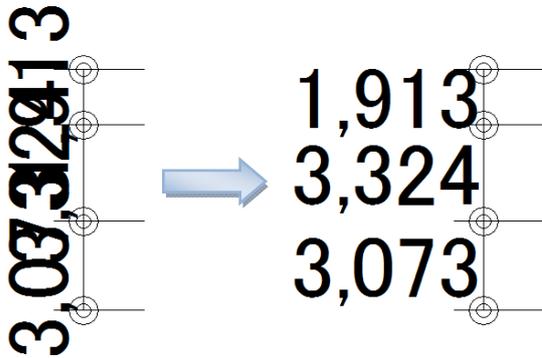
[#1]メニューバー[作図]-[寸法線]-[自由角度]



48. 寸法線の寸法値 90° 回転について

- (1) 寸法線の寸法値を 90° 回転^[#1]できるようにしました。寸法線の間隔が狭い箇所で寸法値を 90° 回転させることで寸法値同士の重なりを回避することができます。

[#1]メニューバー[作図]–[寸法線変更]–[寸法値移動]



49. 模様ありペイントの単色指定表示について

- (1) 模様ありペイントが、シートの単色指定^[#1]時でも、模様ありで表示されるようにしました。選択時に選択色となる場合も同様です。

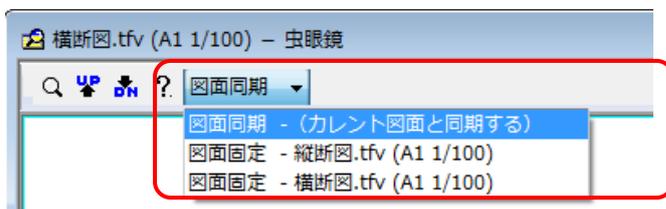
[#1]シートタブの右クリックメニュー[プロパティ]–[基本]タブ



50. 虫眼鏡ウィンドウの強化

- (1) 虫眼鏡^[#1]に表示される図面を固定できるようにしました。これにより、メインフレームに縦断図、虫眼鏡に横断図を表示し、それぞれを別のディスプレイで表示する等の運用が可能になります。

[#1]メニューバー[表示]–[虫眼鏡]



- (2) 虫眼鏡に通常のビューと同様のシートタブを追加しました。そこから可能な動作は通常のビューのものと同じです。

51. 基準原点表示について

- (1) ≪新規コマンド≫基準原点の位置を表示^[#1]できるようにしました。

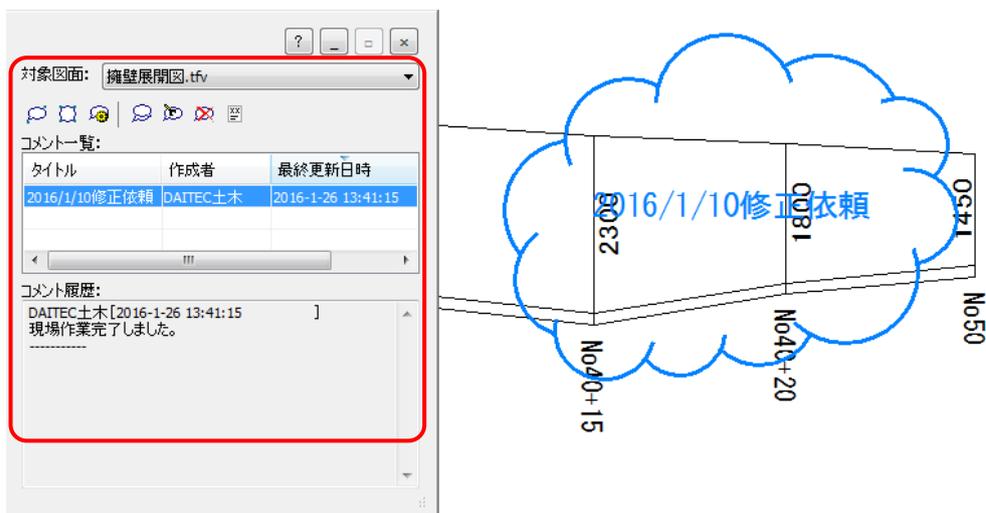
[#1]メニューバー[表示]-[基準原点表示] 



52. コメント履歴について

- (1) ≪新規コマンド≫図面内にコメントを追加^[#1]できるようにしました。それぞれのコメントは履歴が保持されます。また、コメント一覧からコメントを選択することで、目的のコメント位置にパンニングします。

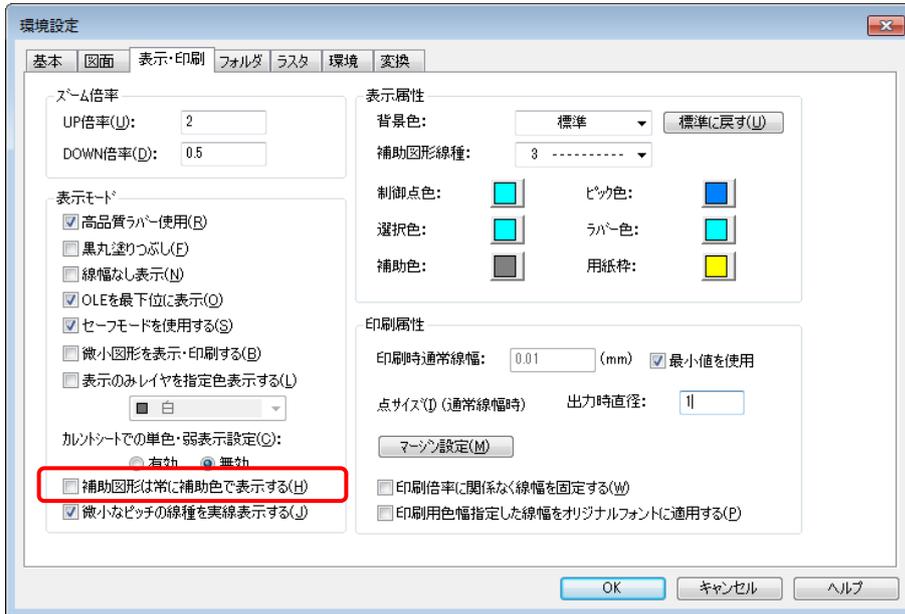
[#1]メニューバー[ファイル]-[コメント履歴]



53. 補助図形の補助色表示について

- (1) 補助図形が常に補助色で表示される設定^[#1]を追加しました。この設定がオンの場合は、シートの単色表示と表示のみレイヤの指定色表示に影響されません。

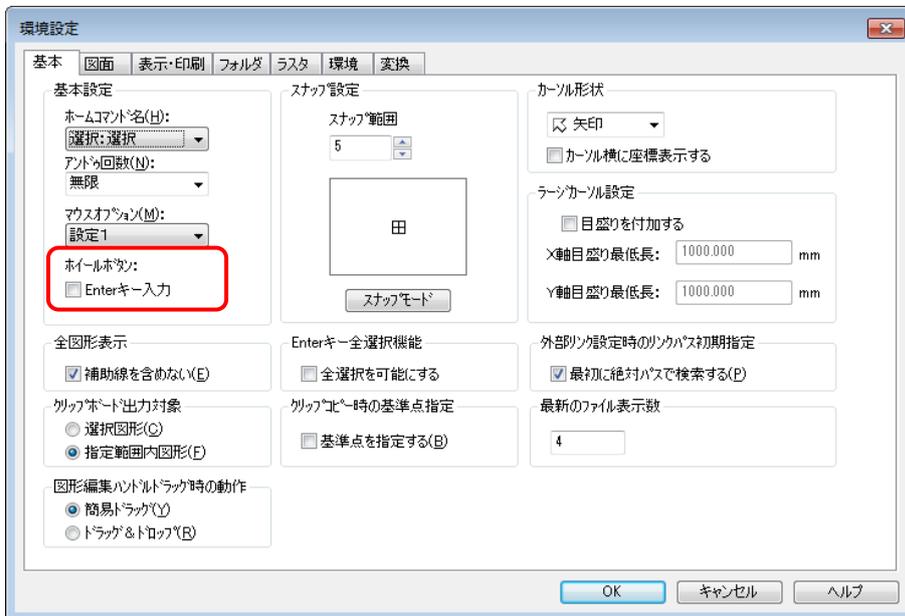
[#1]メニューバー[設定]-[環境設定]の【環境設定】ダイアログ-[表示・印刷]タブ



54. パンニングの改善について

- (1) マウスのホイールボタンに<Enter>キーを割り当てても、ホイールボタンのドラッグでパンニングできるようにしました。それに伴い、ホイールボタンの設定^[#1]を、<Enter>キー入力の有無に変更しました。

[#1]メニューバー[設定]-[環境設定]の【環境設定】ダイアログ-[基本]タブ



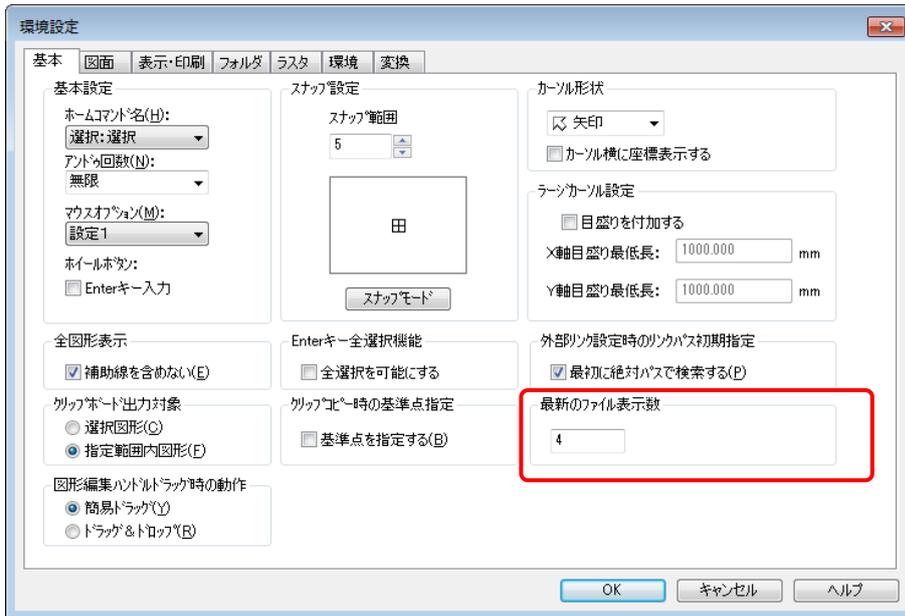
- (2) ≪新規コマンド≫パンニング^[#1]を追加し、ホイールボタン以外でもパンニングできるようにしました。

[#1]ツールバーカスタマイズの「表示」分類にある[ドラッグして表示領域を移動]

55. 最新のファイルの表示数について

- (1) ファイルメニューの最新のファイルの表示数を設定できるようにしました。

[#1]メニューバー[設定]-[環境設定]の【環境設定】ダイアログ-[基本]タブ

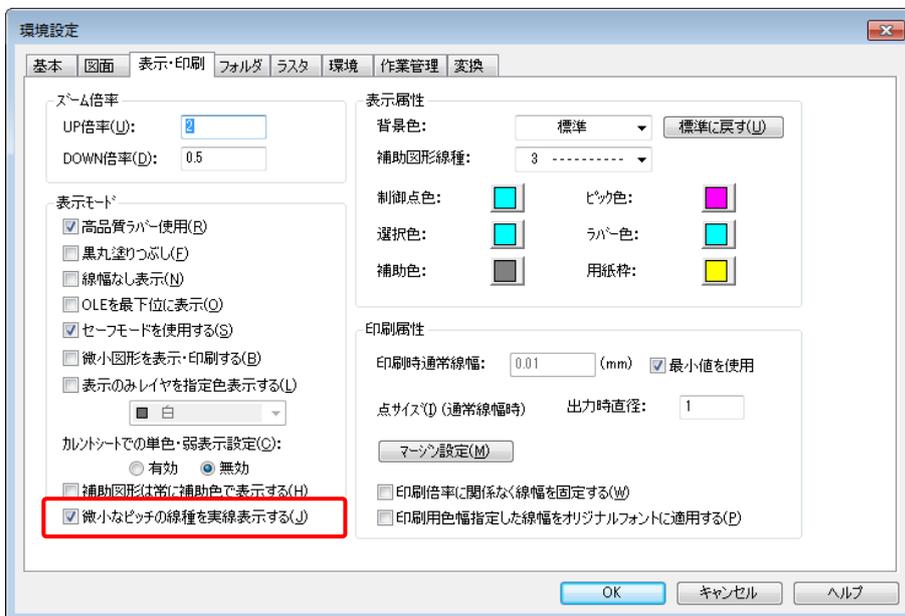


56. 微小なピッチの線種について

- (1) 線種の実線表示

微小なピッチの線種を実線表示する表示モード[#1]を設けました。ピッチが微小なため実線のように見える図形を実線として表示することで描画速度が向上すると共に、メモリ消費量が軽減されます。実線表示されても、元の線種は保持されます。

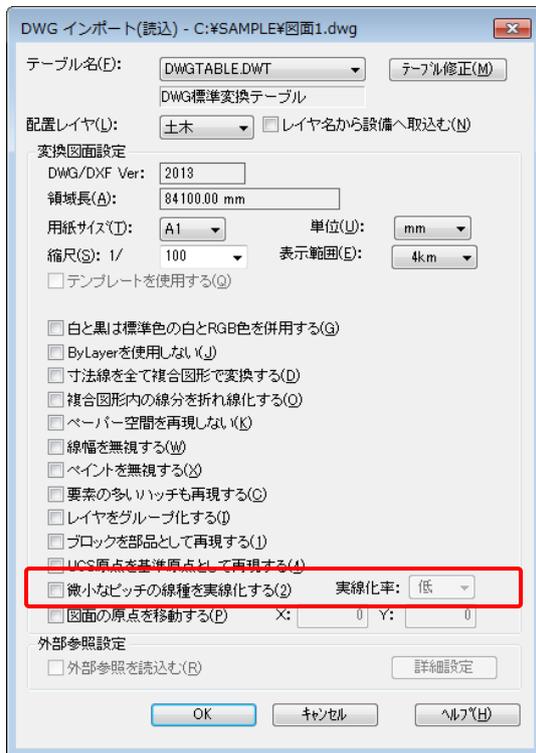
[#1]メニューバー[設定]-[環境設定]の【環境設定】ダイアログ-[表示・印刷]タブ



(2) 線種の実線化

DWG/DXF インポート時に、微小なピッチの線種を実線化するレベルを設定^{＃1}できるようにしました。従来は、“実線化率：低”相当で固定でしたが、実線化率を3段階とし、実線化をしない（チェックボックス=OFF）ことも選択できます。実線化されて読込まれた場合は、元の線種は失われます。

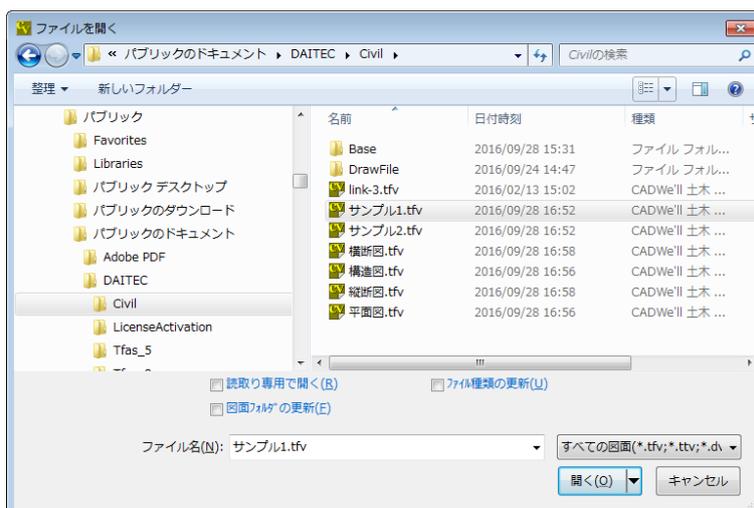
＃1)メニューバー[ファイル]-[開く]のDWG/DXF 読込みの【DWG/DXF インポート】ダイアログ



57. ファイルを開くおよび保存ダイアログについて

(1) ファイルを開くおよび保存のダイアログ^{＃1}を、Vista スタイルに変更しました。

＃1)メニューバー[ファイル]-[開く]の【ファイルを開く】ダイアログ
メニューバー[ファイル]-[名前を付けて保存]の【名前を付けて保存】ダイアログ



58. 時間課金版の情報表示について

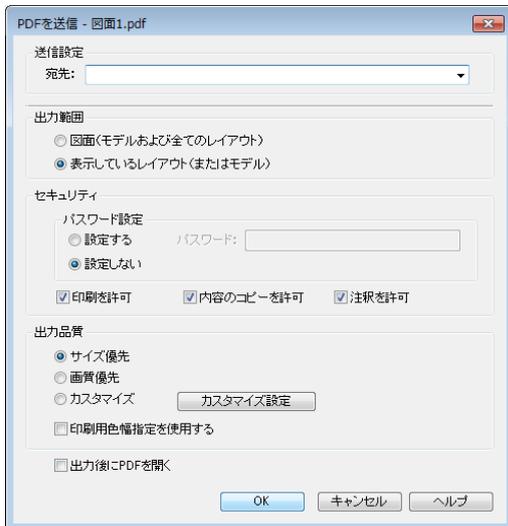
(1) 時間課金版のバージョン情報^{＃1}に、“時間課金版”と表示されるようにしました。

＃1)メニューバー[ヘルプ]-[バージョン情報]の【CADWe'II のバージョン情報】ダイアログ

59. 送信について

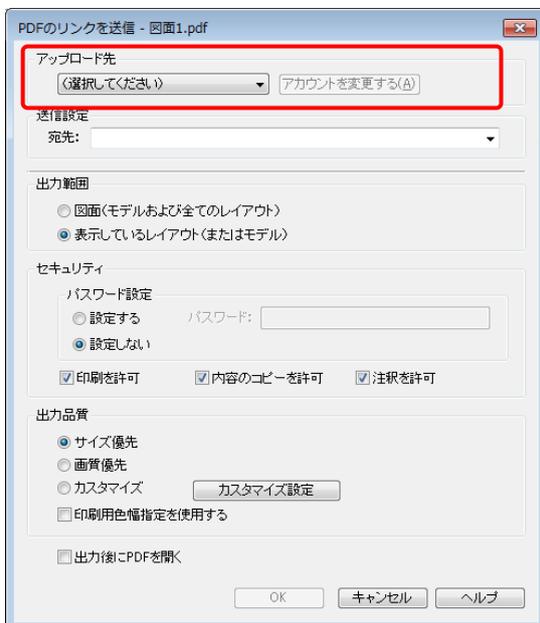
- (1) 《新規コマンド》開いている図面をPDF化したファイルを添付した状態でメールを起動^[#1]できるようにしました。PDF の出力設定とともに、よく利用する宛先を保持することができます。宛先が指定されている場合には、宛先が設定された状態でメールが起動します。

[#1] ツールバーカスタマイズの「ファイル」分類にある[電子メールシステムを使って、作業中の文書の PDF を送信/回覧] 



- (2) 《新規コマンド》開いている図面をPDFとしたファイルをクラウドストレージへアップロードし、そのリンクを添付した状態でメールを起動^[#1]できるようにしました。アップロード先を指定できる以外は、上記(1)と同様です。

[#1] ツールバーカスタマイズの「ファイル」分類にある[電子メールシステムを使って、作業中の文書の PDF のリンクを送信/回覧]

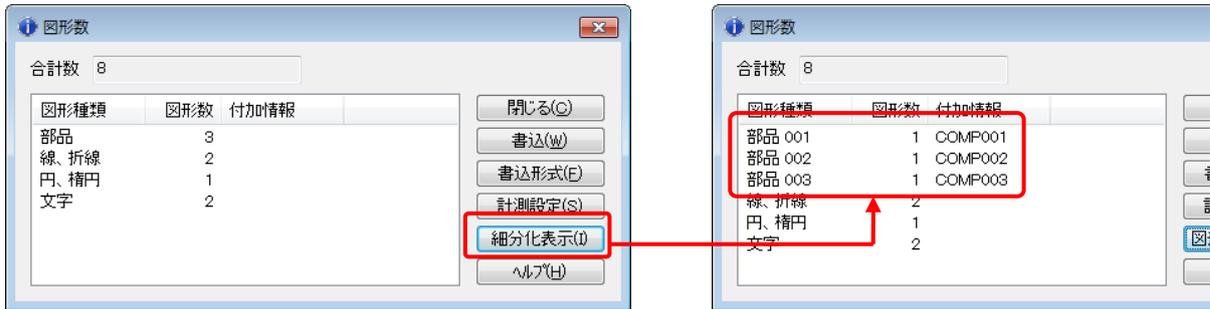


※アップロード先のクラウドストレージ (Amazon S3、Google Drive、Microsoft OneDrive) の詳細については、各サービスのホームページ等でご確認ください。

60. 図形数について

- (1) ≪新規コマンド≫選択した図形の数を計測^[#1]できるようにしました。“細分化表示”では、付加情報を持つ図形（部品等）が展開表示されます。例えば、部品の場合は、部品名称ごとに図形数が表示されます。

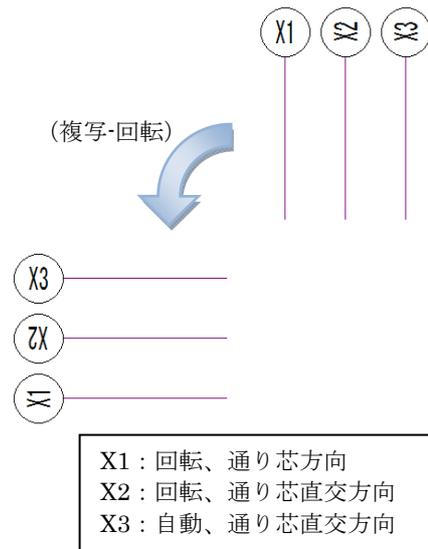
[#1]ツールバーカスタマイズの「表示」分類にある【配置済み図形の数を計算】 



61. 通り芯の文字方向について

- (1) 通り芯属性^[#1]の文字並びに“回転”を追加しました。従来の“自動”や“上向”と異なり、通り芯の角度に因る文字方向の補正が行われません。また、“配置パターン”を追加し、文字方向が通り芯方向か通り芯と直交方向かを選択できるようにしました。

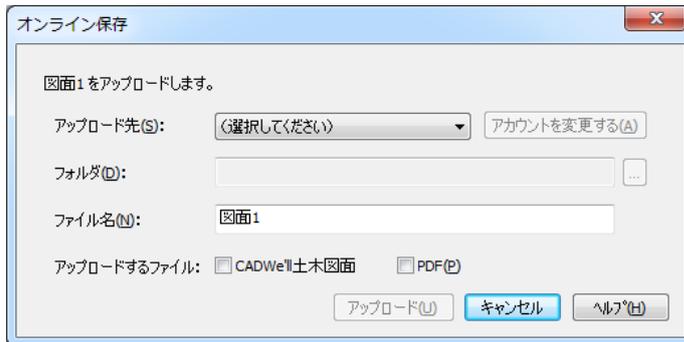
[#1]メニューバー[作図]-[通り芯]-[基本設定]の【通り芯属性設定】ダイアログ-[詳細項目]タブ



62. オンライン保存について

- (1) ≪新規コマンド≫開いている図面をクラウドストレージへアップロード^{【#1】}できるようにしました。アップロード可能なファイルは、CADWe'll 土木図面と PDF です。

【#1】メニューバー[ファイル]－[オンライン保存]



※アップロード先のクラウドストレージ（Amazon S3、Google Drive、Microsoft OneDrive）の詳細については、各サービスのホームページ等でご確認ください。

63. マルチディスプレイにおける文字編集ダイアログ等の表示位置について

- (1) マルチディスプレイ環境でも、[文字]の[文字記入]^{【#1】}、[連続編集]^{【#2】}、[連続置換]^{【#3】}のダイアログが、前回位置に表示されるようにしました。

【#1】メニューバー[作図]－[文字]－[文字記入]の【文字記入】ダイアログ

【#2】メニューバー[作図]－[文字]－[連続編集]のダイアログ

【#3】メニューバー[作図]－[文字]－[連続置換]のダイアログ

64. 雲形図形の作図について

- (1) ≪新規コマンド≫雲形の作図方法(“パターン” / “円弧均等”)^{【#1】}を追加しました。それぞれの基準長さを指定できます。

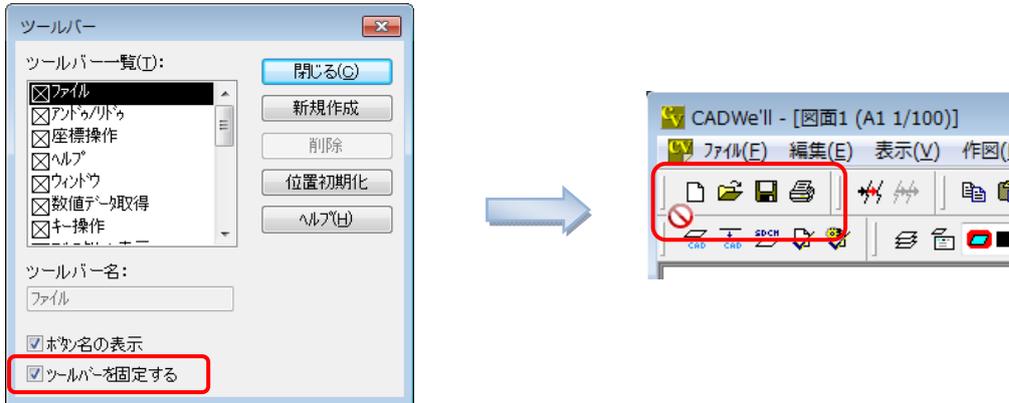
【#1】ツールバーカスタマイズの[作図]分類にある[作図方法、形状を指定して雲形の集合図形を作図] 



65. ツールバーの固定について

- (1) ドッキングされたツールバーの位置を固定^[#1]できるようにしました。固定時にドラッグ操作すると“利用不可”カーソルが表示されます。

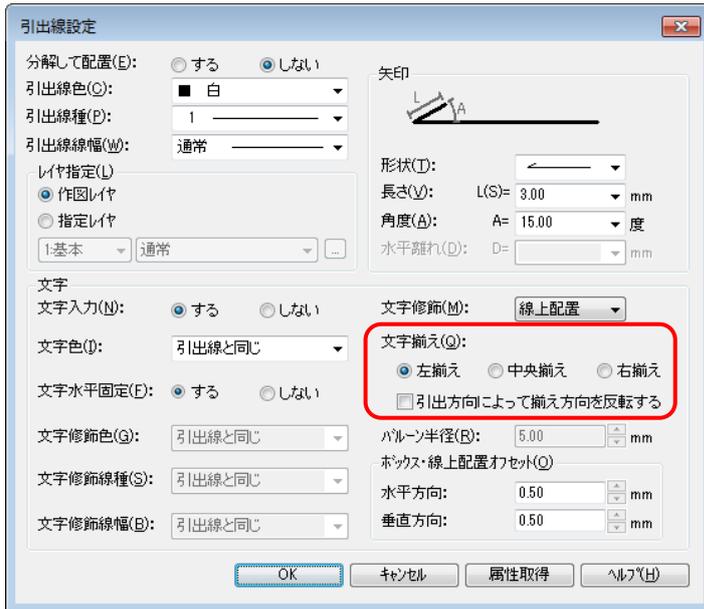
[#1]メニューバー[表示]-[ツールバー]の【ツールバー】ダイアログ



66. 引出線の文字基準指定について

- (1) 引出線文字の文字基準^[#1]を指定できるようにしました。この設定は、文字修飾が“なし”、“線上配置”、“ボックス”のときに限られます。また、“引出線方向によって揃え方向を反転する”を ON とすることで従来の動作となります。

[#1]メニューバー[作図]-[引出線]-[設定]の【引出線設定】ダイアログ



67. 製図基準について

(1) 基準選択ツリー [#1]~[#3]に以下基準を追加しました。

- 国土交通省 CAD 製図基準 一般土木 <平成 28 年 3 月>
- 国土交通省 CAD 製図基準 電気通信設備編 <平成 28 年 3 月>
- 国土交通省 CAD 製図基準 機械設備工事編 <平成 28 年 3 月>
- 国土交通省 港湾局 電子納品等運用ガイドライン【資料編】内の CAD 規約 <平成 25 年 5 月>
- 農林水産省 電子化図面データの作成要領(案) 電気通信設備編 <平成 25 年 3 月>
- 農林水産省 電子化図面データの作成要領(案) 機械設備工事編 <平成 26 年 3 月>
- 農林水産省 地質・土質調査成果電子納品要領 (案) 内の CAD 規約 <平成 24 年 3 月>
- NEXCO 総研 CAD による図面作成要領 土木編 <平成 27 年 7 月> ([#1]のみ)

[#1]メニューバー[ツール]-[製図基準]-[レイヤ作成]の【レイヤー括作成設定】ダイアログ



[#2]メニューバー[ツール]-[製図基準]-[色線種変換]の【色線種一括変換設定】ダイアログ

[#3]メニューバー[ツール]-[製図基準]-[図面チェック]の【基準選択】ダイアログ



※[#3]の画面